

## 知事就任後 1 年間の取組についての県政モニターアンケート結果

県では、三日月知事の就任から 1 年が経過したことを機に、この 1 年間の取組をとりまとめました。

その内容につきまして、県民目線で評価をいただくことで、知事の今後の政策判断の参考とさせていただくためにアンケート調査を実施しました。

★調査時期：平成 27 年 8 月

★対象者：県政モニター 398 人

★回答数：313 人（回収率 78.6%）

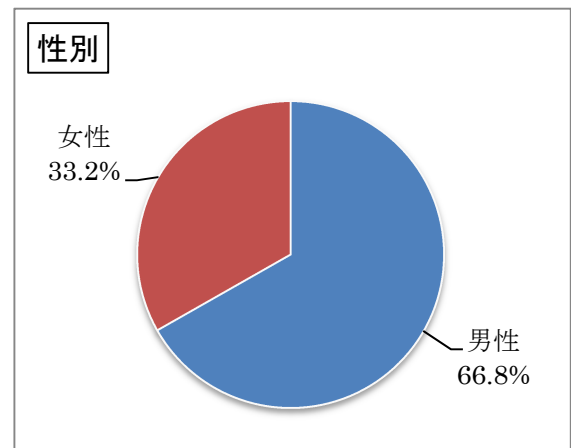
★担当課：秘書課政策推進室

（※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。）

### 【属性】

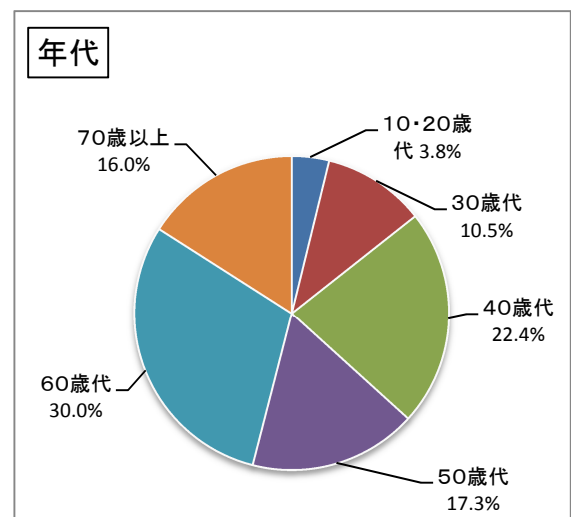
#### ◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	209	66.8
女性	104	33.2
合計	313	100.0



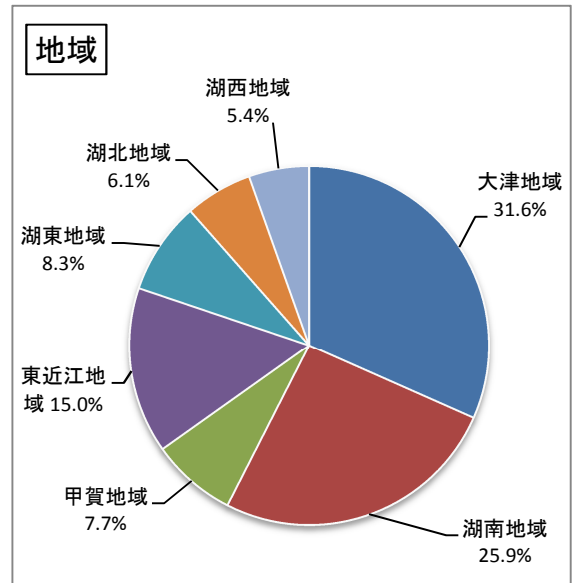
#### ◆年代

項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	12	3.8
30歳代	33	10.5
40歳代	70	22.4
50歳代	54	17.3
60歳代	94	30.0
70歳以上	50	16.0
合計	313	100.0



◆地域

項目	人数（人）	割合（％）
大津地域	99	31.6
湖南地域	81	25.9
甲賀地域	24	7.7
東近江地域	47	15.0
湖東地域	26	8.3
湖北地域	19	6.1
湖西地域	17	5.4
合計	313	100.0



☆アンケート結果概要☆

県政モニターによる各政策の評価結果の概要は以下のとおりでした。

「評価する」

1 徹底した現場主義の実践 (4 頁)	22.4%
5 粘り強く卒原発へ (12 頁)	22.0%
2 対話・共感・協働による県政の推進 (6 頁)	21.1%
6 (5) まもる～豊かなびわ湖を次世代に (44 頁)	18.2%
6 (1) ア 子育て支援 (14 頁)	16.0%

「評価する」＋「おおむね評価する」

1 徹底した現場主義の実践 (4 頁)	83.7%
2 対話・共感・協働による県政の推進 (6 頁)	82.8%
6 (6) 「そなえる～安全・安心社会の実現 (46 頁)	79.9%
6 (1) ア 子育て支援 (14 頁)	78.6%
6 (4) ア ものづくり産業 (38 頁)	78.0%

「評価しない」

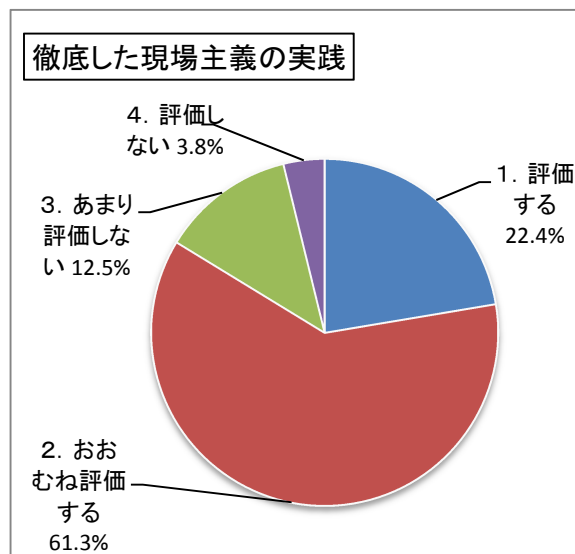
5 粘り強く卒原発へ (12 頁)	10.2%
6 (1) エ 教育 (20 頁)	9.9%
6 (2) ウ 道路 (30 頁)	9.3%
6 (4) ウ エネルギー・環境 (42 頁)	8.3%
6 (2) イ 歩いて暮らせるまちへ (28 頁)	7.3%

「あまり評価しない」＋「評価しない」

6 (1) エ 教育 (20 頁)	39.0%
6 (2) ウ 道路 (30 頁)	35.2%
5 粘り強く卒原発へ (12 頁)	33.5%
6 (2) イ 歩いて暮らせるまちへ (28 頁)	32.9%
6 (2) エ 鉄道 (32 頁)	32.9%

問1 「1 徹底した現場主義の実践」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=313)

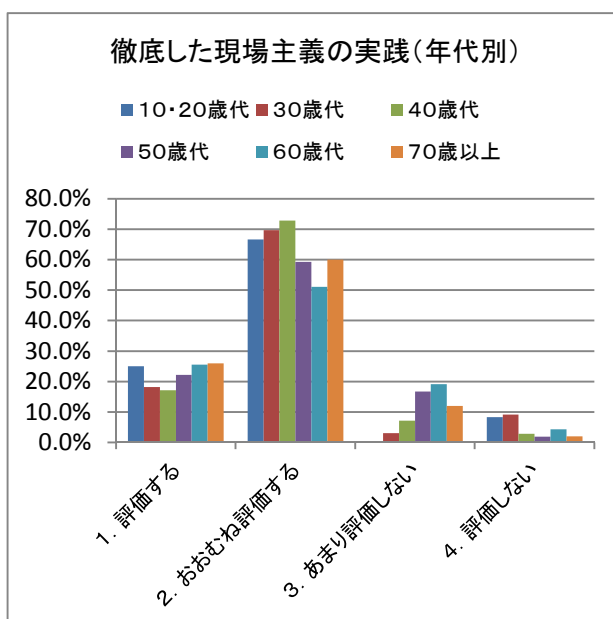
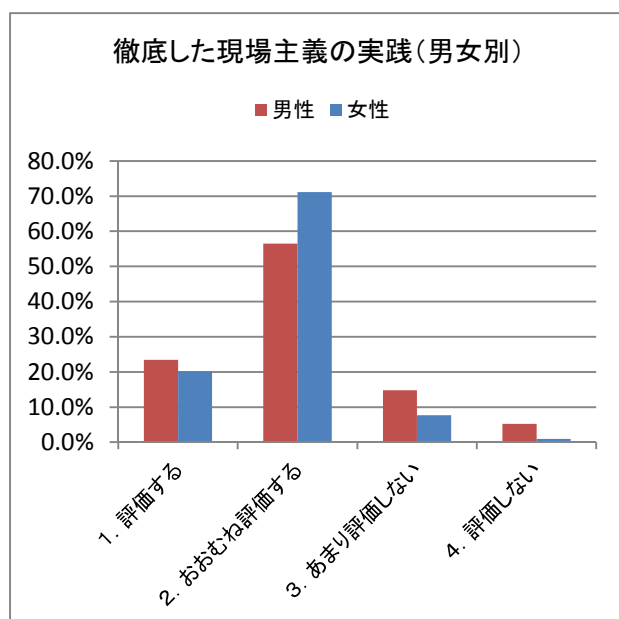
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	70	22.4
2. おおむね評価する	192	61.3
3. あまり評価しない	39	12.5
4. 評価しない	12	3.8
合計	313	100.0

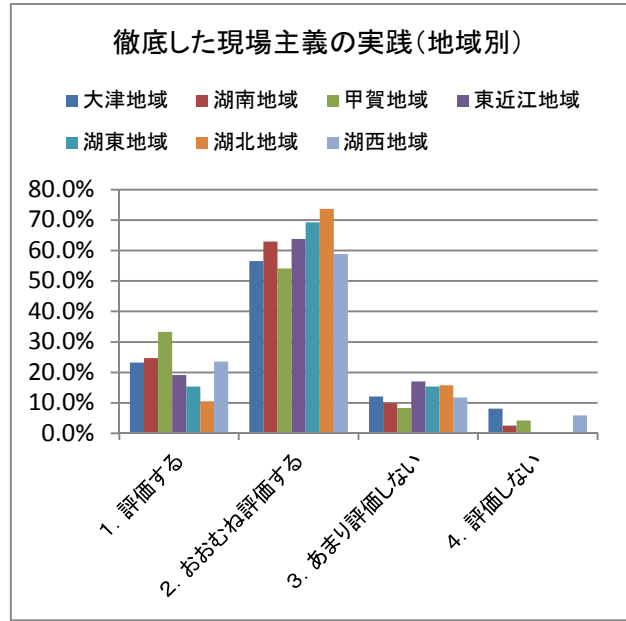


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見(抜粋)

- ・実際に居住したことは大変素晴らしいが、そのPRがなされていないことがもったいない。
- ・若さを生かした行動力を感じる。
- ・住んだり、行事に参加することで、その地域の良さや、改善していくべきことをより明確にできると思う。
- ・特別の立場で現場に入っても現場の日常はつかめない。行く姿勢は評価する。
- ・現場主義は理解するけど、湖北だけでなく、湖東、湖西など様々な地域がある。
- ・現場でみたことをどのようにして県政に生かすのかが見えてこない。

### 【クロス集計結果】



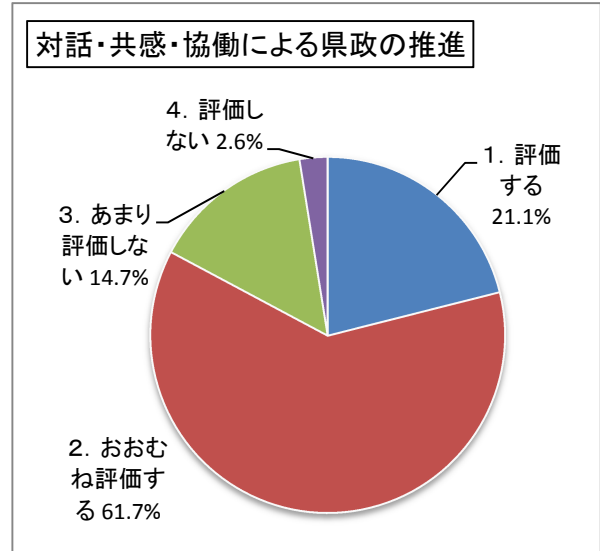


**【結果分析】**

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、83.7%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く91.4%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20歳代で91.7%、最も低かったのは、60歳代で76.6%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖南地域で87.7%、最も低かったのは、大津地域で79.8%だった。

問2 「2 対話・共感・協働による県政の推進」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=313)

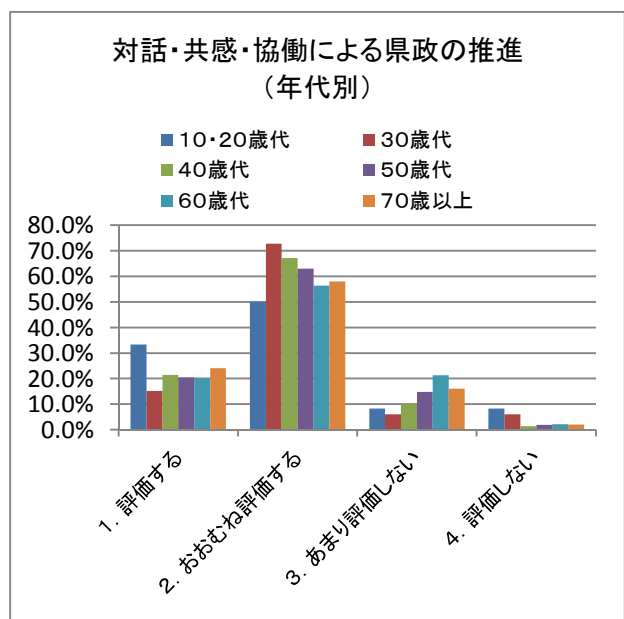
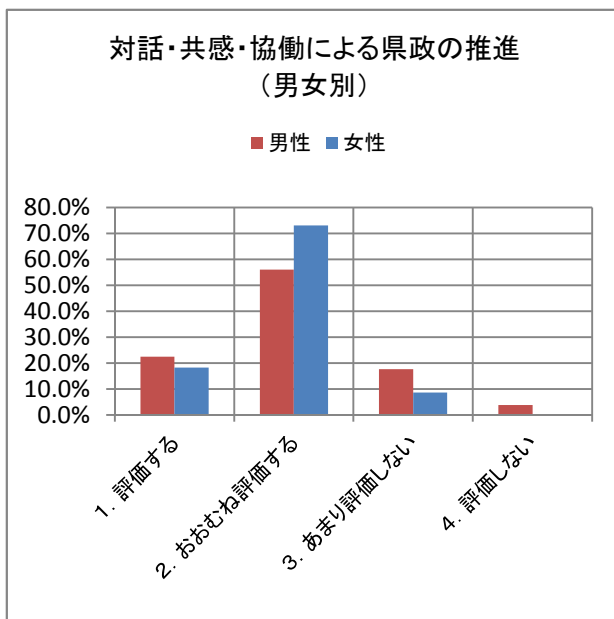
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	66	21.1
2. おおむね評価する	193	61.7
3. あまり評価しない	46	14.7
4. 評価しない	8	2.6
合計	313	100.0

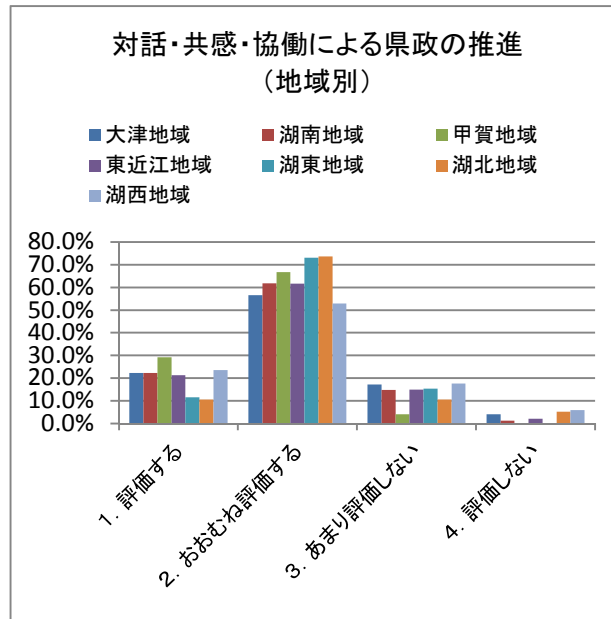


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見(抜粋)

- ・企業や大学との連携は、地域の活性化にもつながるので、これからも積極的に行ってほしい。
- ・外部とのコミュニケーションに前向きな取り組みを評価する。
- ・今後も直接訪問や対話を続けてほしい。
- ・マスメディアを意識しすぎている。駄目なものは即座に駄目と言って欲しい。
- ・対話を重視するのは良いが、一部の県民の考えに情が流されないか、心配。知事は県政全体の見地から評価運営すべき。
- ・県職員が組織的に対話を進めることが大事だと思う。

### 【クロス集計結果】



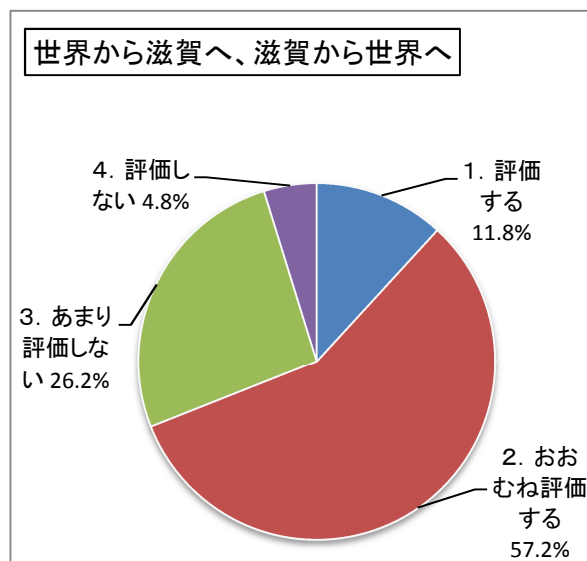


**【結果分析】**

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、82.8%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く 91.4% だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、40 歳代で 88.5%、最も低かったのは、60 歳代で 76.6%だった。「評価する」との回答では、10・20 歳代が最も高く 33.3%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域で 95.9%、最も低かったのは湖西地域で 76.4%だった。

問3 「3 世界から滋賀へ、滋賀から世界へ」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=313)

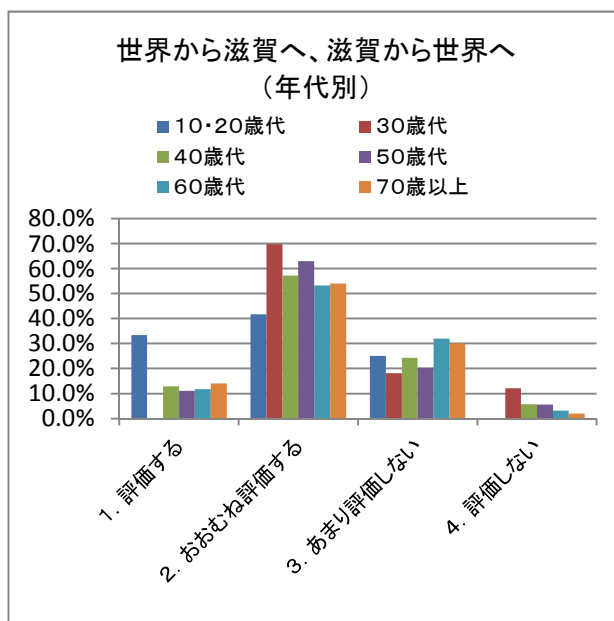
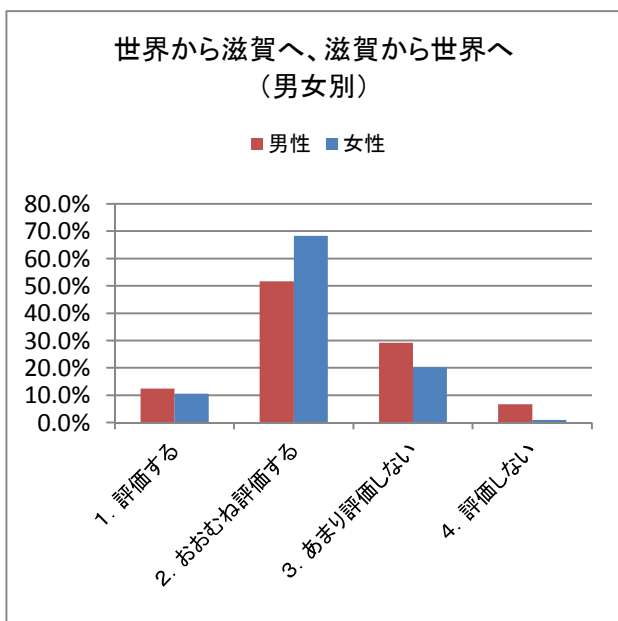
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	37	11.8
2. おおむね評価する	179	57.2
3. あまり評価しない	82	26.2
4. 評価しない	15	4.8
合計	313	100.0



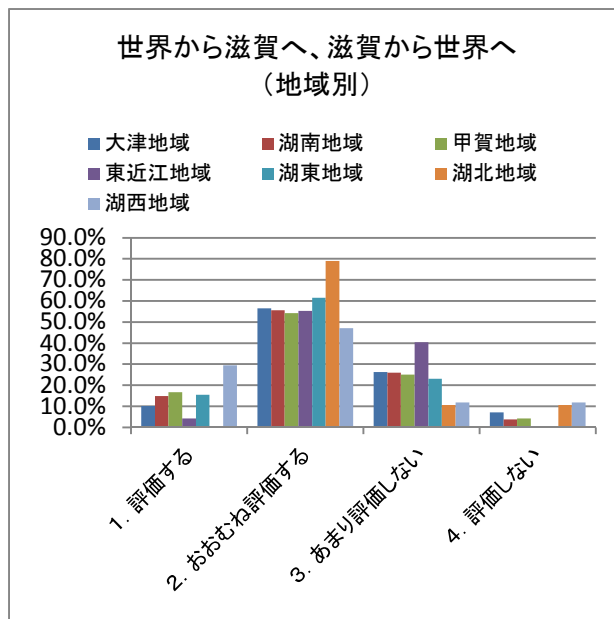
評価のポイントとなった取組や、この分野への意見(抜粋)

- ・ 今後も、特にアジア地域との友好を重視していただきたい。
- ・ 観光県として滋賀の魅力を世界にアピールすることは意味がある。
- ・ 世界とのつながりを深め、子どもたちにも国際交流の場を広めて欲しい。
- ・ 世界に県をアピールするなら県独自に誇れるものを探すべき。
- ・ 具体的な成果が見えない。

【クロス集計結果】





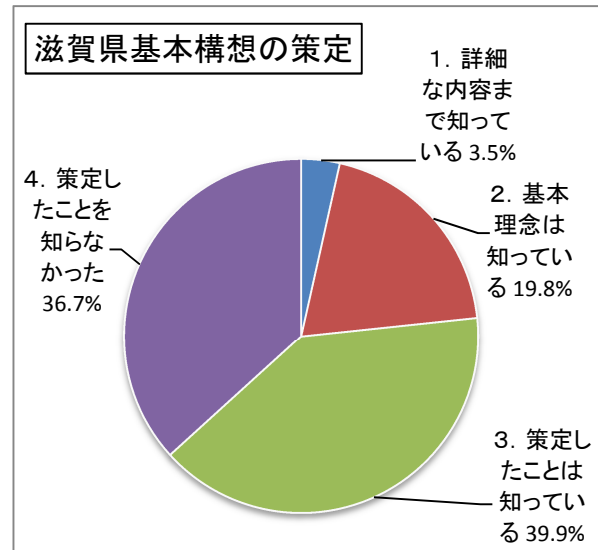


**【結果分析】**

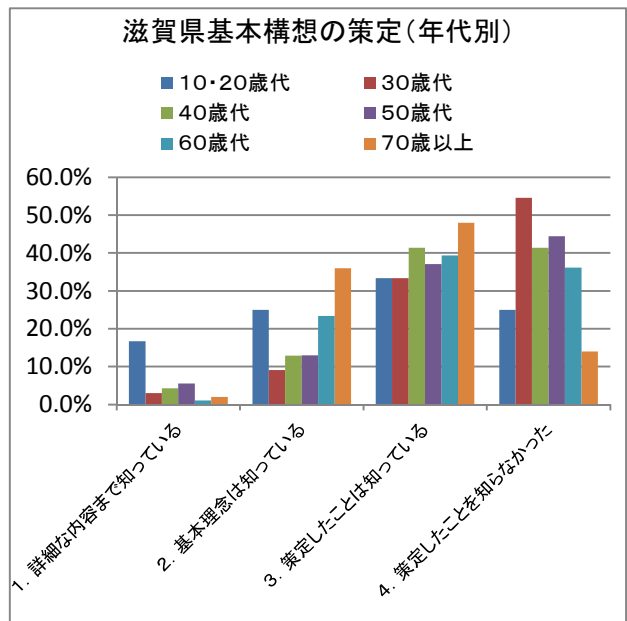
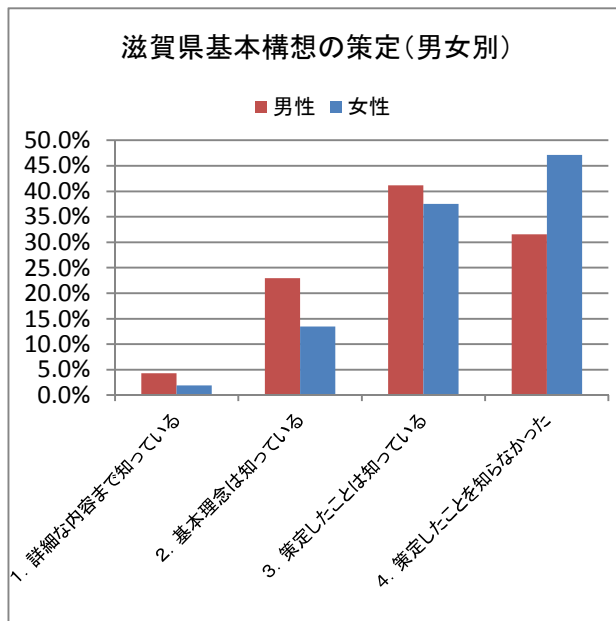
- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、69.0%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く78.9%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20歳代で75.0%、最も低かったのは60歳代で64.9%だった。「評価する」との回答では、10・20歳代が最も高く、33.3%、「評価しない」との回答では30歳代が最も高く、12.1%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖北地域で78.9%、最も低かったのは東近江地域で59.6%だった。

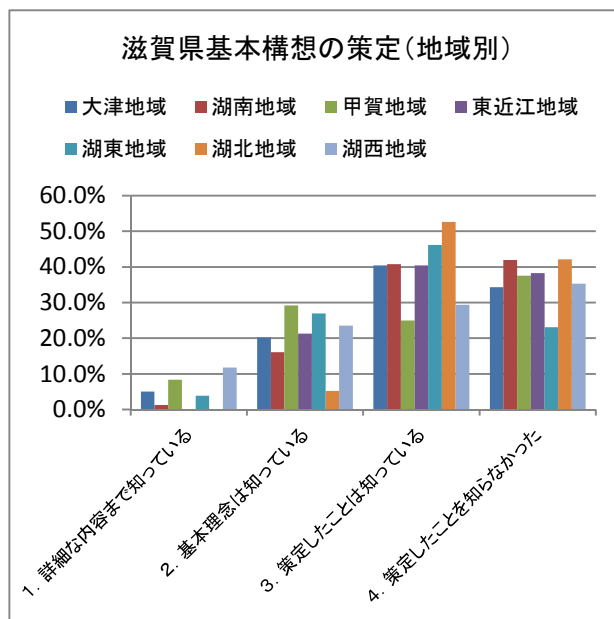
問4 「4 滋賀県基本構想の策定」について、どの程度ご存じですか。次の  
 中から1つだけお選びください。(回答チェックは1つだけ n=313)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 詳細な内容まで知っている	11	3.5
2. 基本理念は知っている	62	19.8
3. 策定したことは知っている	125	39.9
4. 策定したことを知らなかった	115	36.7
合計	313	100.0



【クロス集計結果】



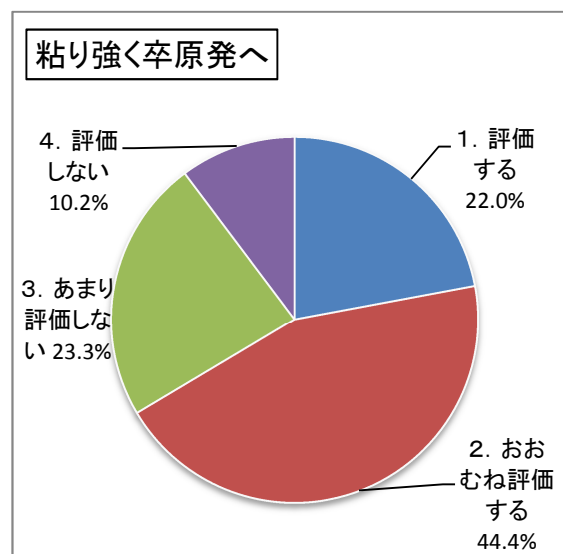


**【結果分析】**

- 「策定したことは知っている」と回答された割合が最も高く 39.9%、次いで「策定したことを知らなかった」が 36.7%だった。
- 男女別では、男性は、「策定したことは知っている」と回答された割合が最も高く 41.1%、次いで「策定したことを知らなかった」が 31.6%だった。女性は「策定したことを知らなかった」と回答された割合が 47.1%と最も高く、次いで「策定したことは知っている」の 37.5%だった。
- 年代別では、30代、40代、50代で「策定したことを知らなかった」と回答された割合が高かった。
- 地域別では、「策定したことを知らなかった」と回答された割合が最も高かったのは湖北地域で 42.1%、次いで湖南地域で 42.0%だった。

問5 「5 粘り強く卒原発へ」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=313)

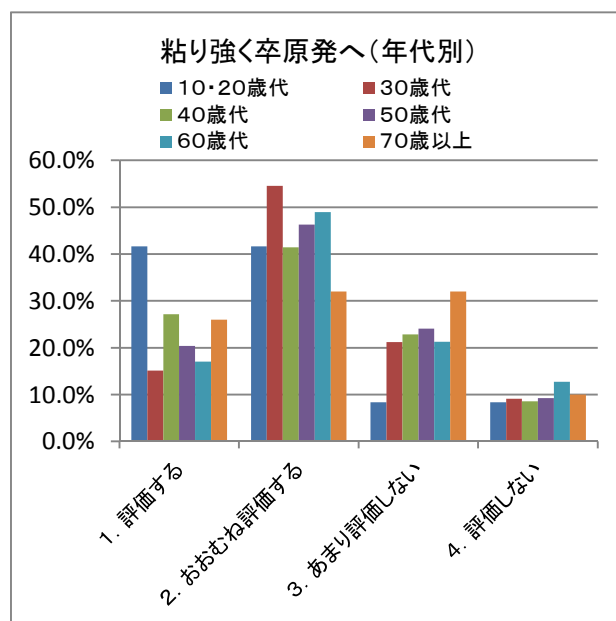
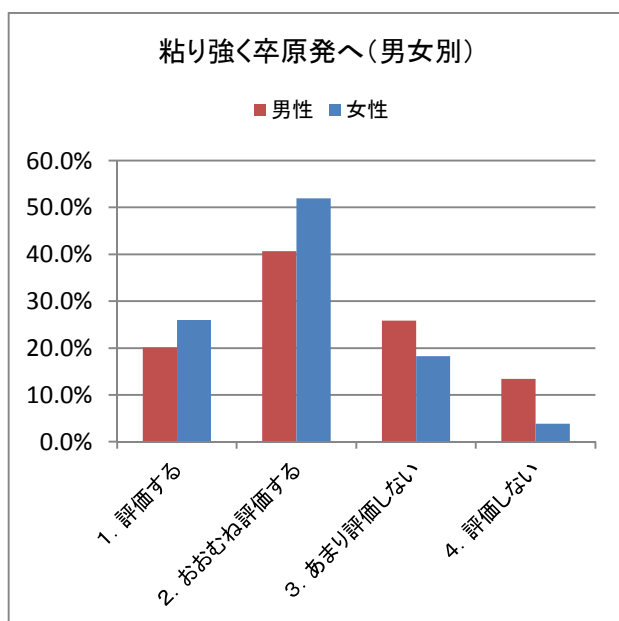
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	69	22.0
2. おおむね評価する	139	44.4
3. あまり評価しない	73	23.3
4. 評価しない	32	10.2
合計	313	100.0

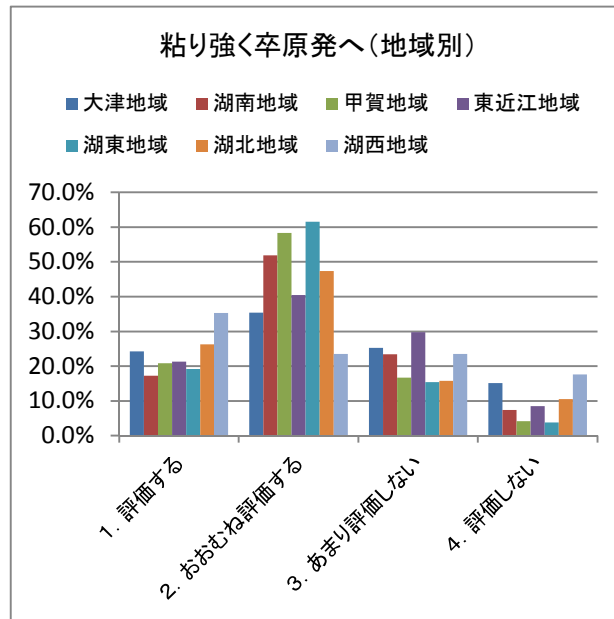


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見(抜粋)

- ・ 卒原発こそ最も期待するところです。
- ・ 困難ではあるが、県民の安全と琵琶湖の環境を守るために着実に前進されていると感じる。
- ・ 原発は、安全保障上絶対に必要である。感情論で国民の耳受けのよい事を全面に出した反対はいけない。
- ・ 利用者負担と、新たな取り組みへの経費負担、原発リスクのバランスをどのように考えているのかがよくわかりません。
- ・ 原発は経済発展に必要。電力料金も数割上がってしまった。
- ・ 原発は将来的に無くしていくべきかとは思いますが、それに替わるエネルギー確保をどうするのかという具体論が無いと空論になるのではないかと。

### 【クロス集計結果】





#### 【結果分析】

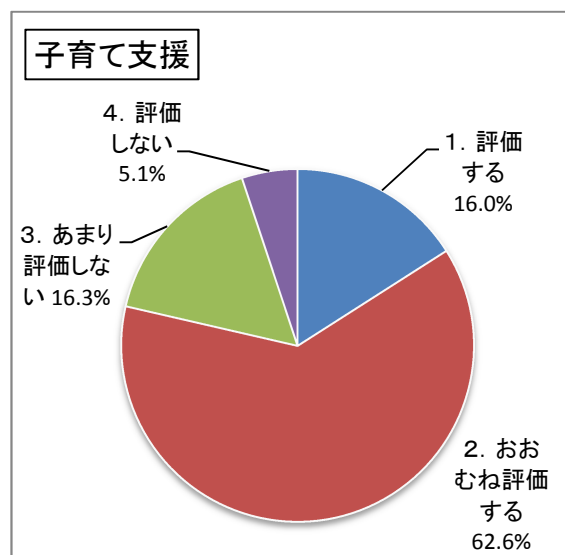
- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、66.4%だった。「評価する」との回答は22.0%と「1 徹底した現場主義の実践」に次いで2番目に高い割合だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く77.9%だった。「評価しない」と回答された割合は、男性13.4%、女性が3.8%と、男性のほうが10ポイント近く高かった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、10・20代が最も高く、83.4%で、年代が上がるほどに割合が低下し、70歳以上では58%だった。
- 地域別では、「評価する」と回答された割合は、湖西地域35.3%、湖北地域26.3%、大津地域24.2%の順に高く、「評価しない」と回答された割合でも、湖西地域17.6%、大津地域15.2%、湖北地域10.5%の順に高かった。

問6 「6 知事政策提案集「7つ星の政策カテゴリー」ごとの主な取組」について、以下の各項目をどう評価されますか。(回答チェックは項目ごとに1つだけ n=313)

(1) 「いきる～全ての人の人生の応援団」

ア 子育て支援

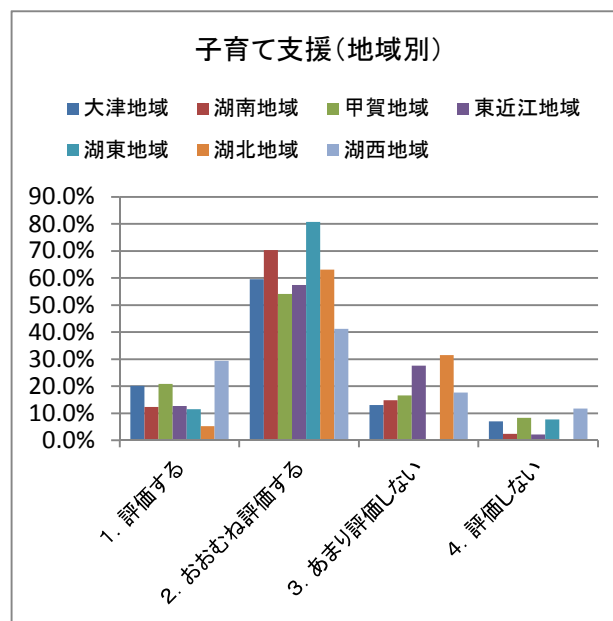
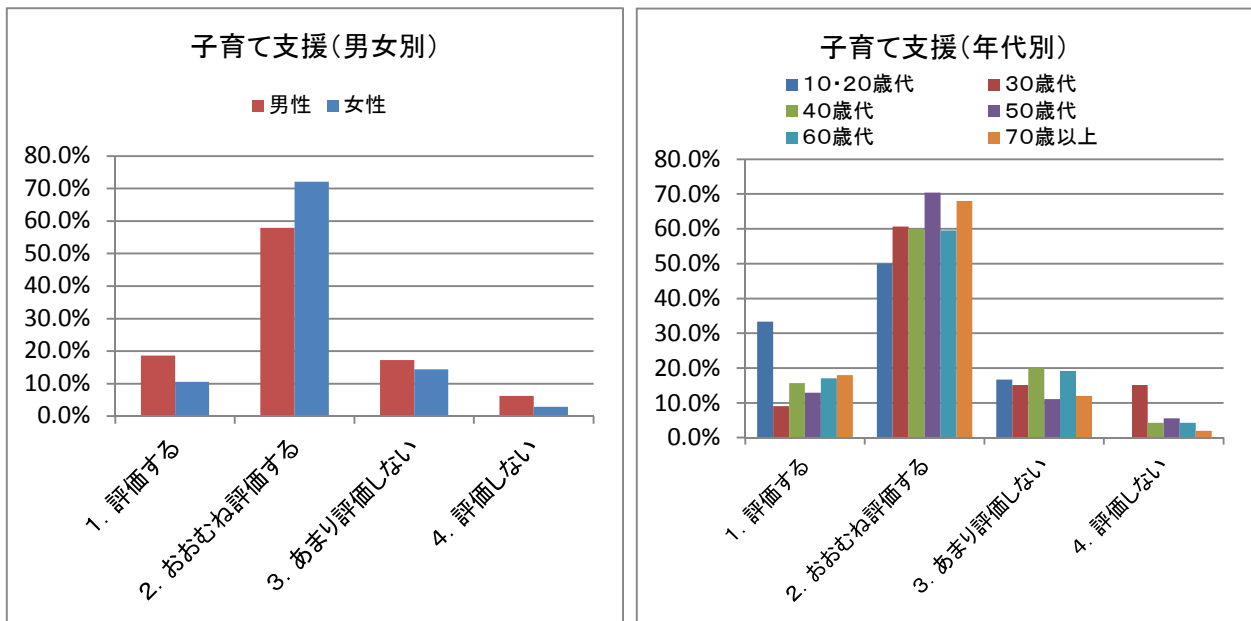
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	50	16.0
2. おおむね評価する	196	62.6
3. あまり評価しない	51	16.3
4. 評価しない	16	5.1
合計	313	100.0



評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・子どもたちが安全に過ごせる環境についても十分考慮して行って欲しい。男性の不妊治療助成開始については、とても評価できる。
- ・友人で子供がもう一人欲しいけど、保育所や金銭的な理由で諦めている人が多いので、良いと思う。
- ・保育士・保育所の拡充、問題は中身。予算を付けることはとても大事だが、教育内容や環境が心配。未就学児は家庭で過ごす選択肢もあることも尊重してほしい。
- ・保育所整備は、単純な収容人数の増加だけでなく、家から近いところに確実に預けられるなどの利便性の確保も重要。
- ・保育園で子供が熱を出しても、すぐに迎えに行けない、そうした父母の対策も考えて欲しい。
- ・産まないという選択肢をえらんだ人への支援も考慮してほしい。

## 【クロス集計結果】

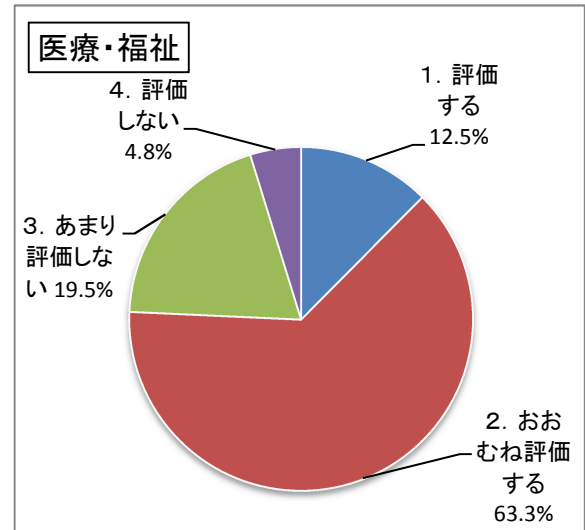


### 【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、78.6%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く、82.7%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、70歳以上で86.0%、最も低かったのは30歳代で69.7%だった。「評価する」との回答では10・20代が最も高く、33.3%だったのに対し、30代が最も低く、9.1%だった。「評価しない」との回答では30代が最も高く15.2%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖東地域で92.3%、最も低かったのは湖北地域で68.5%だった。

## イ 医療・福祉

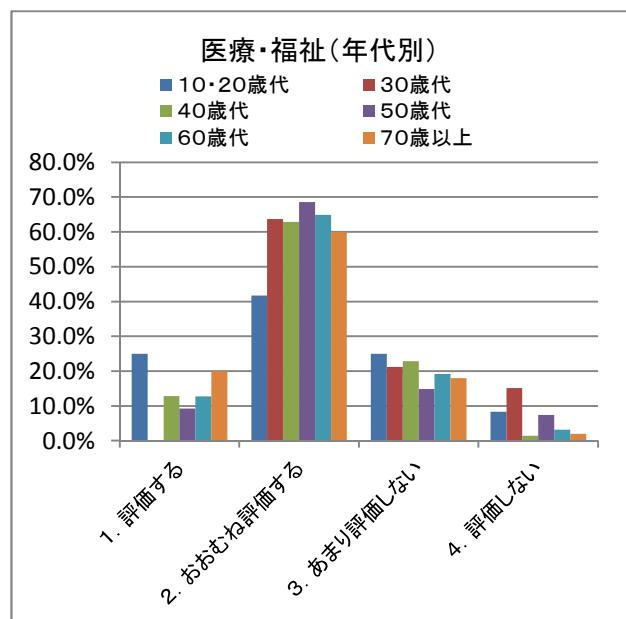
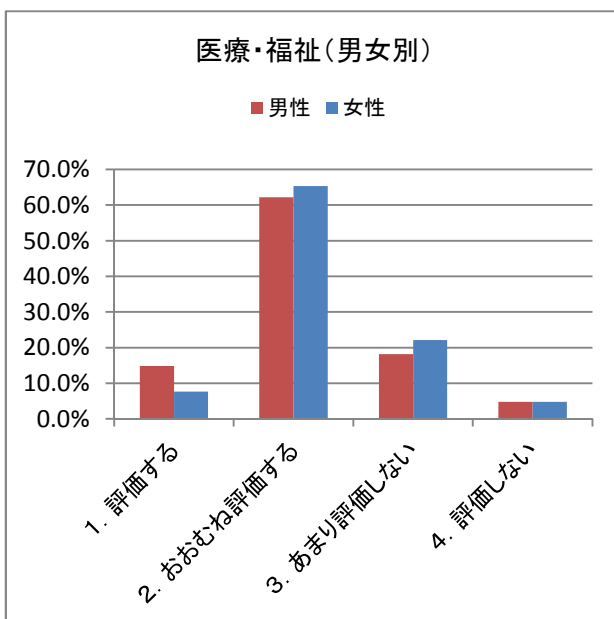
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	39	12.5
2. おおむね評価する	198	63.3
3. あまり評価しない	61	19.5
4. 評価しない	15	4.8
合計	313	100.0



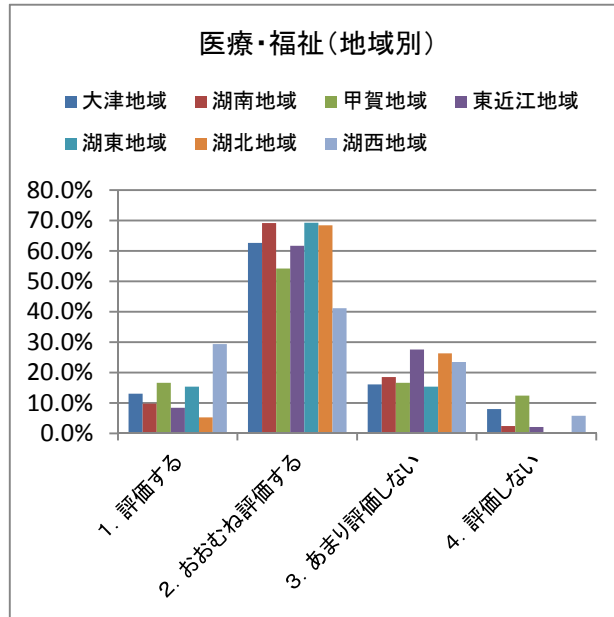
### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・ドクターヘリの運航開始を評価する。
- ・高齢者の見守りは今後さらに重要になってくると思うので、企業や地域との連携を深めていって欲しい。
- ・予防医学の取り組みが乏しい。もっと、地域で活躍できる行政としての支援があれば有難い。食育推進など予防に力を入れよう。
- ・成人病センターの充実を。医師をもっと増やしてほしい。
- ・認知症の現場を数回見ました。本当に厳しい状況です。包括センターを設けることよりも、地域医療、診療所段階でこまめな対応のほうが良いのではないのでしょうか。

### 【クロス集計結果】





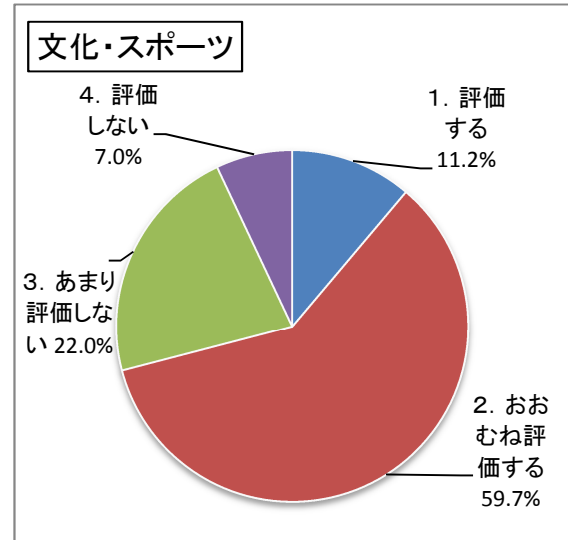


**【結果分析】**

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、75.8%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、男性のほうが高く、77.0%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、70歳以上で80.0%、最も低かったのは、30歳代で63.6%だった。30歳代は、「評価する」との回答がゼロだったほか、「評価しない」との回答が15.2%と他の年代より高かった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖東地域で84.6%、最も低かったのは、東近江地域で70.2%だった。

## ウ 文化・スポーツ

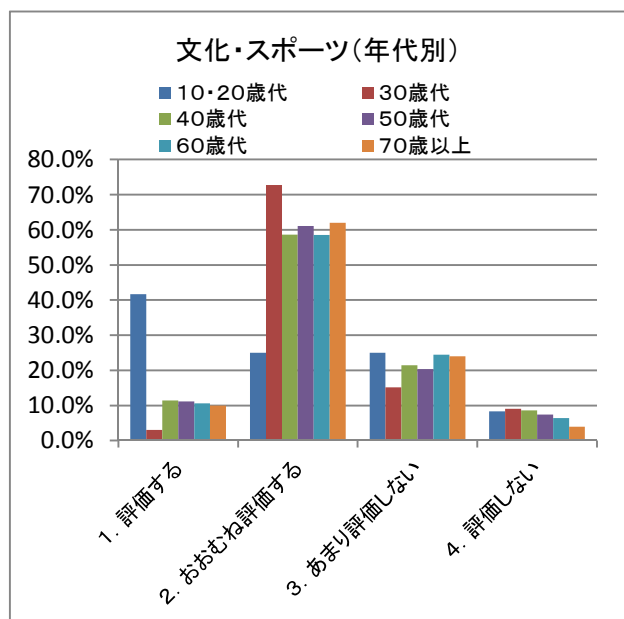
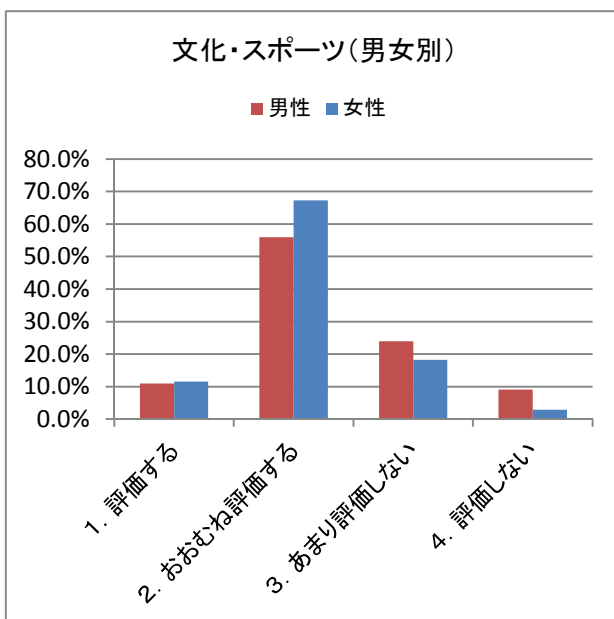
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	35	11.2
2. おおむね評価する	187	59.7
3. あまり評価しない	69	22.0
4. 評価しない	22	7.0
合計	313	100.0

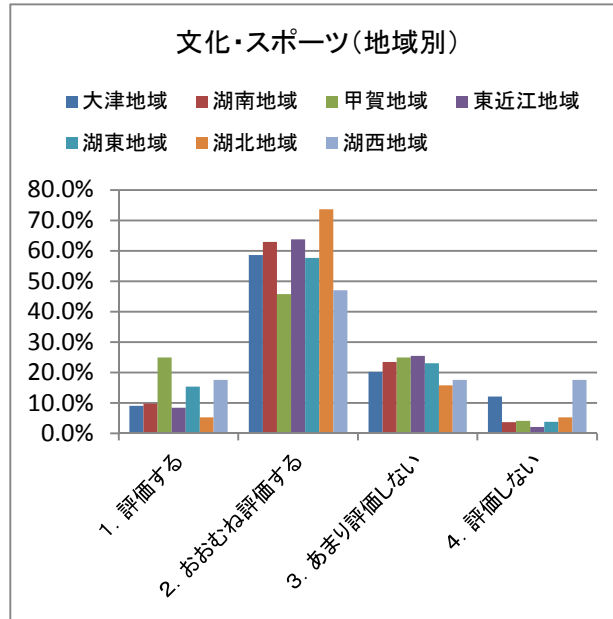


### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・国体・障害者スポ大会について重点的に女性・子どもの声を聞くことを評価。障害者の声も拾ってほしい。美術館の建設について情報が乏しい。知りたいと思った。
- ・国体では彦根含め既存の施設の最大限の活用を行い、コスト削減を図ることも重要。
- ・アスリートやプロばかりで、アマチュアで行うスポーツの支援が不足している。
- ・びわこ文化館を早急に開館して欲しい。
- ・サッカーJ 1、プロ野球、新バスケットボールリーグの公式戦が開催できるスタジアムを地方自治体や企業と連携して作り、滋賀県に多くの人が集まるようにしたい。
- ・滋賀レイクスターズへの支援が少なかった。
- ・現在の美術館、博物館等の補修、整備、拡張等により、古いものを継続利用できるように考えるべきである。

### 【クロス集計結果】



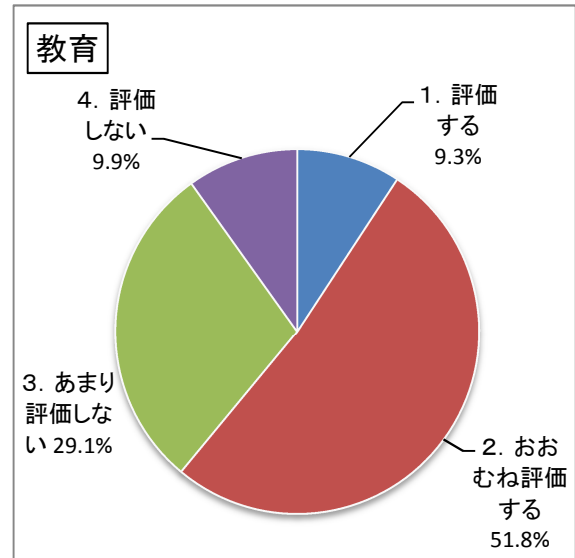


**【結果分析】**

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、70.9%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く78.8%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、30歳代で75.7%、最も低かったのは、10・20歳代で66.7%だった。ただし、10・20代は「評価する」と回答された割合だけでみると最も高く、41.7%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖北地域で79.0%、最も低かったのは、湖西地域で64.7%だった。ただし、「評価する」と回答された割合では、甲賀地域が最も高く25.0%、湖北地域は最も低く5.3%だった。

## エ 教育

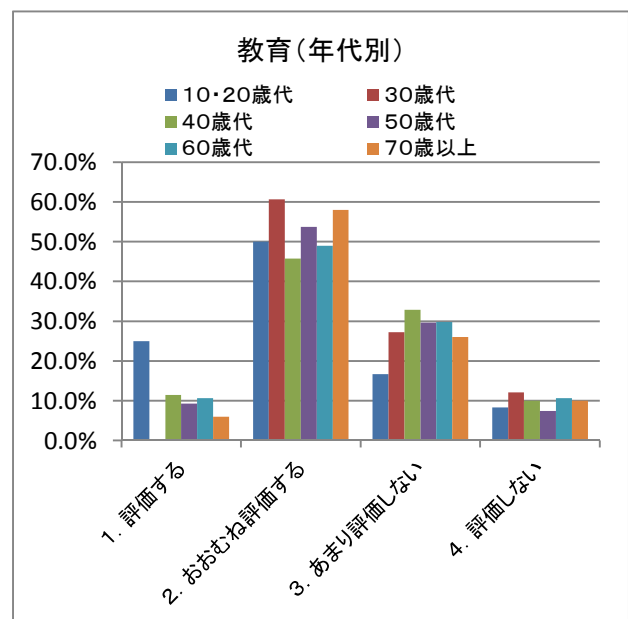
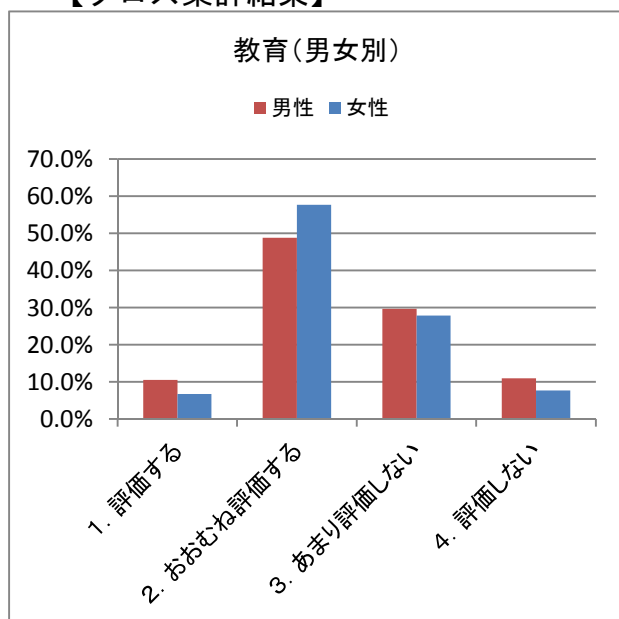
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	29	9.3
2. おおむね評価する	162	51.8
3. あまり評価しない	91	29.1
4. 評価しない	31	9.9
合計	313	100.0

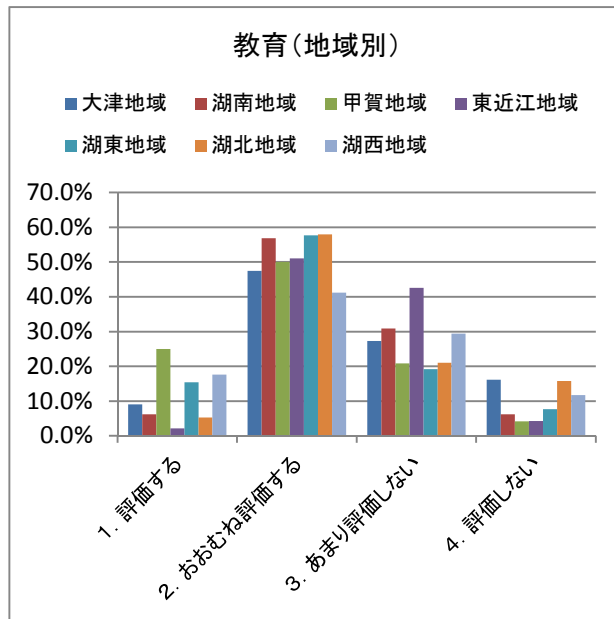


### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・本の推進などとても素晴らしいと思うが、進学を目指すほとんどの子が塾へ行かざるをえないのはなぜか。学校の先生たちの技術を向上させて欲しい。
- ・教育は中身・現場が大切。丁寧な現場検証を今後も続けてほしい。自然学習、地域の歴史（平和）重視してほしい。
- ・学力だけでなく、個性を重視した教育に切り替えて行くべき。
- ・学ぶ力論争をしているが、そこを超えてどういった効果的な学習環境を整えていくかに争点を移してほしい。
- ・ホールの子をもう少し拡充すべき。
- ・なぜ35人学級がよいというのか理由がわからない。教師1人に対して生徒の将来の世話ができる本当の人数を目標とすべき。
- ・いじめ、不登校の問題で、学校にいけない子供の教育対策を考えて欲しい。
- ・大きな問題は貧困家庭の子供の教育をどう引き上げるかではないかと思っている。

### 【クロス集計結果】



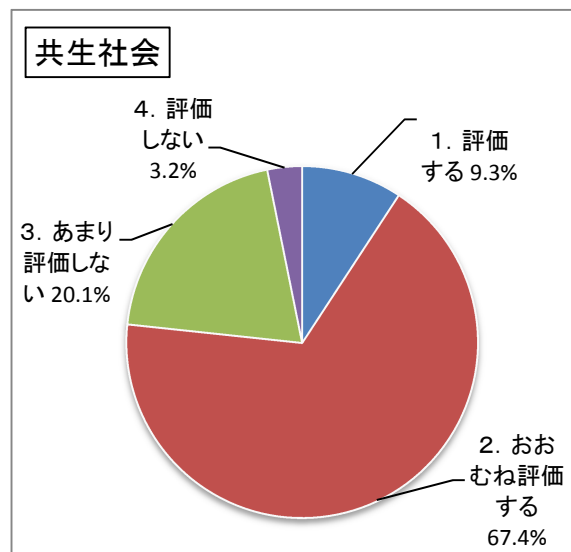


**【結果分析】**

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、61.1%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く 64.4% だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20 歳代で 75.0%、最も低かったのは、40 歳代で 57.1%だった。30 歳代では「評価する」との回答がゼロだった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域で 75.0%、最も低かったのは、東近江地域で 53.2%だった。

## オ 共生社会

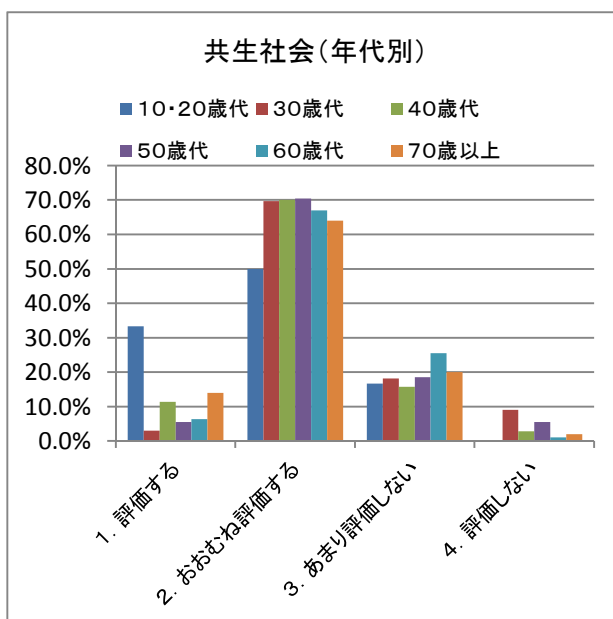
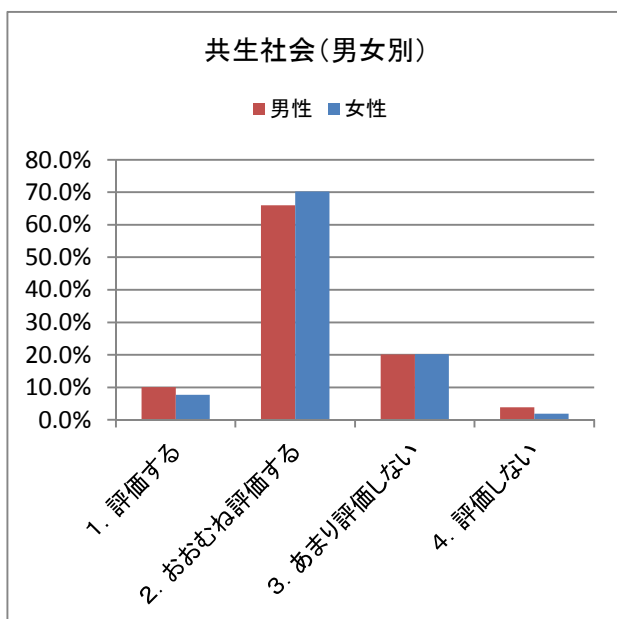
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	29	9.3
2. おおむね評価する	211	67.4
3. あまり評価しない	63	20.1
4. 評価しない	10	3.2
合計	313	100.0

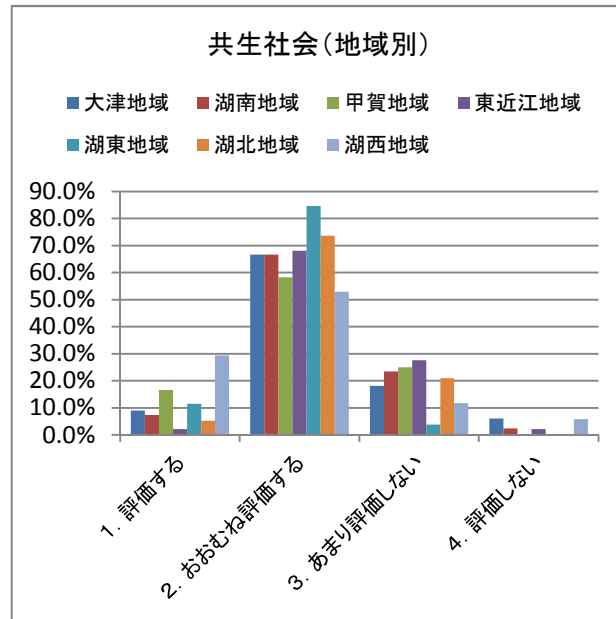


### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・障害のある子どもたちがより柔軟な学びのできる環境作りに今後も積極的に取り組んでいって欲しい。
- ・発達障害児は増加傾向にあるが、高等部卒業後の進路がとても少ない。作業所だけでなく、専攻科で学べる進路も選べるようにしてほしい。
- ・保護観察対象者等の見守り施策の強化が必要。
- ・共生する場合、健常者に対し、病気についての説明が事前に必要と思う。

### 【クロス集計結果】



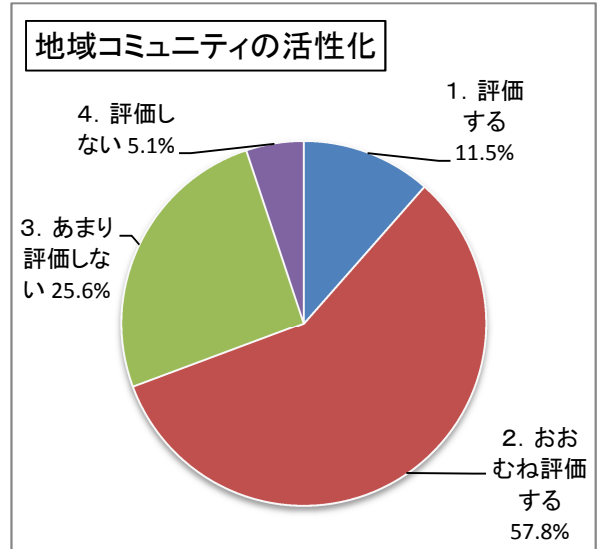


**【結果分析】**

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、76.7%だった。
- 男女別では、特徴的な違いはなかった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20歳代で83.3%、最も低かったのは、30歳代で72.7%だった。「評価する」との回答のみでも、10・20歳代が最も高く33.3%、30歳代が最も低く3.0%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖東地域で96.1%、最も低かったのは、東近江地域で70.2%だった。

## カ 地域コミュニティの活性化

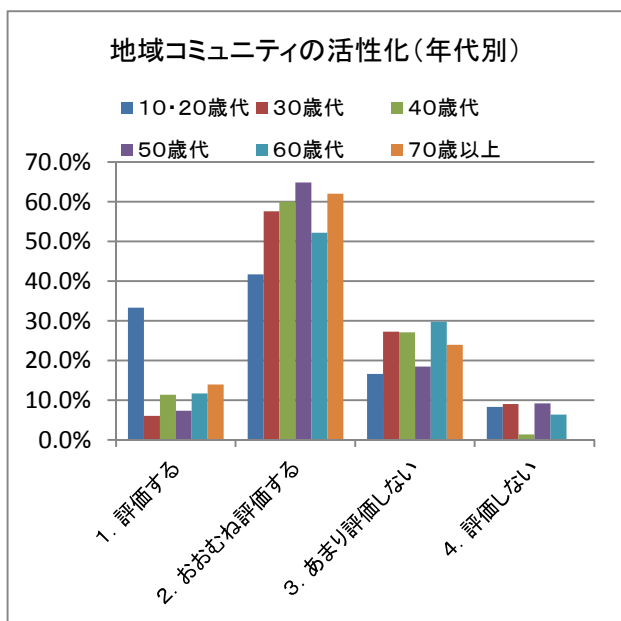
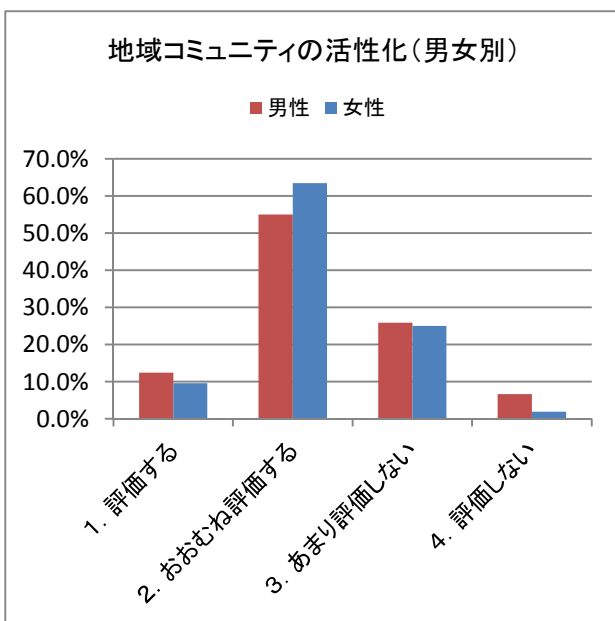
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	36	11.5
2. おおむね評価する	181	57.8
3. あまり評価しない	80	25.6
4. 評価しない	16	5.1
合計	313	100.0



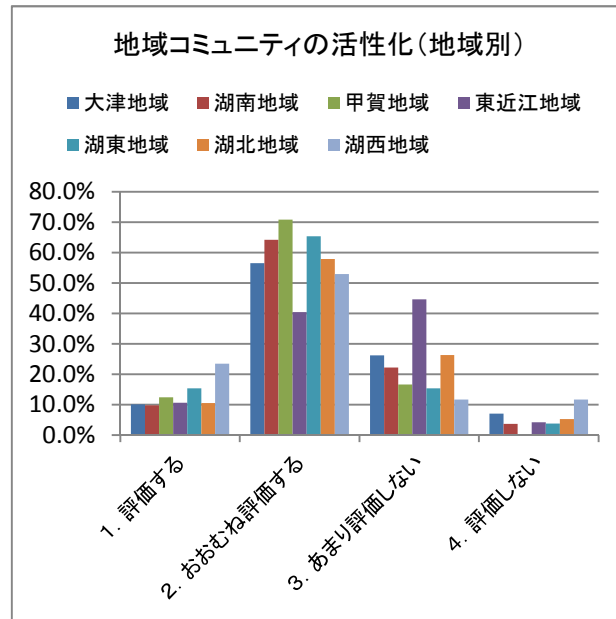
### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・滋賀ならではの問題も多いので、急務かと思う。各自治体と連携して細かいスパンで計画実行して欲しい。
- ・過疎地域に県民が魅力を持つような施策を。
- ・地域の行事や祭りについて、県内外に広めていって欲しい。
- ・少子高齢化で限界集落では地域コミュニティの活性化は困難である。
- ・結婚政策については反対。「結婚しない」という選択がとりにくくなるし、結婚の障害は収入の不安だと思う。

### 【クロス集計結果】







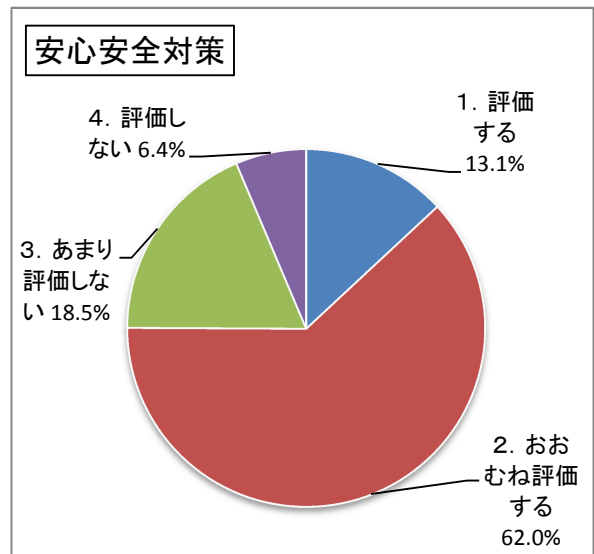
**【結果分析】**

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、69.3%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く73.1%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20歳代で75.0%、最も低かったのは、30歳代で63.7%だった。「評価する」との回答のみでも、10・20歳代が最も高く33.3%、30歳代が最も低く6.1%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域で83.3%、最も低かったのは、東近江地域で51.0%だった。

(2)「うごく～新しい公共交通の推進」

ア 安心安全対策

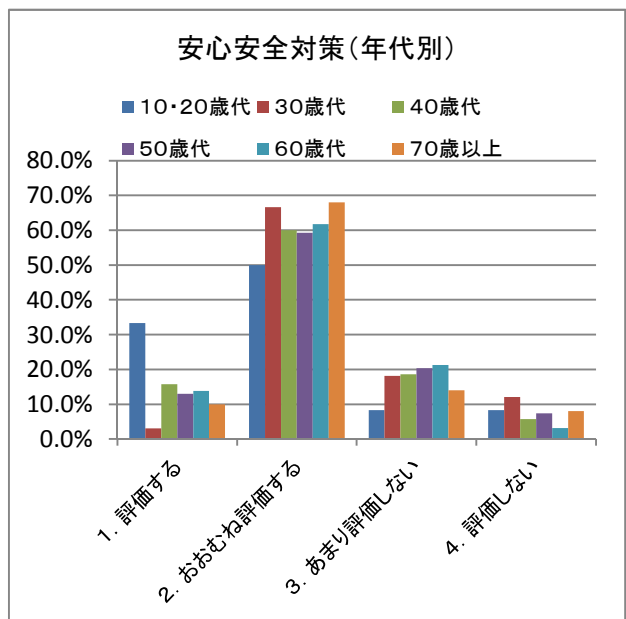
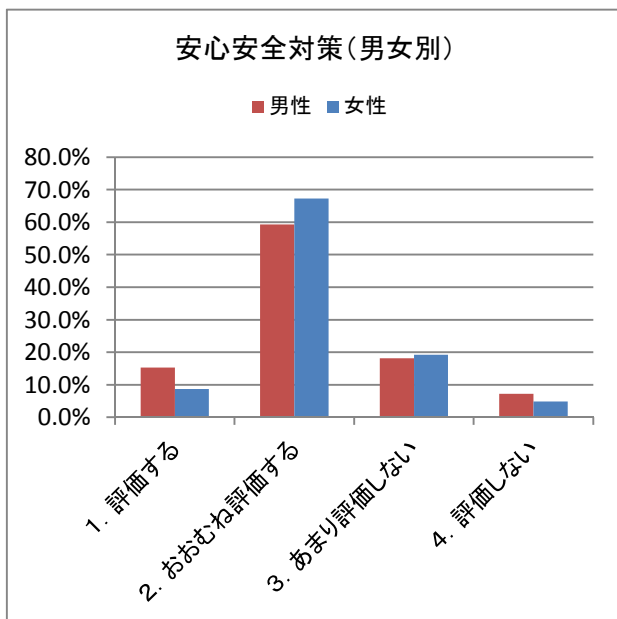
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	41	13.1
2. おおむね評価する	194	62.0
3. あまり評価しない	58	18.5
4. 評価しない	20	6.4
合計	313	100.0

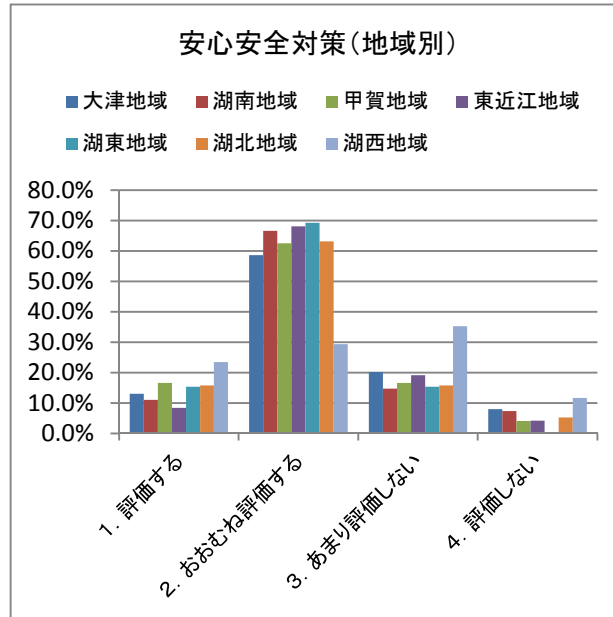


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・歩道の整備を進めてほしい。
- ・通学路の整備をもっと積極的に行っていくべきだと思う。
- ・自転車のマナー違反対策が急務。
- ・高齢者の活用、安全パトロールを提案したい。

【クロス集計結果】



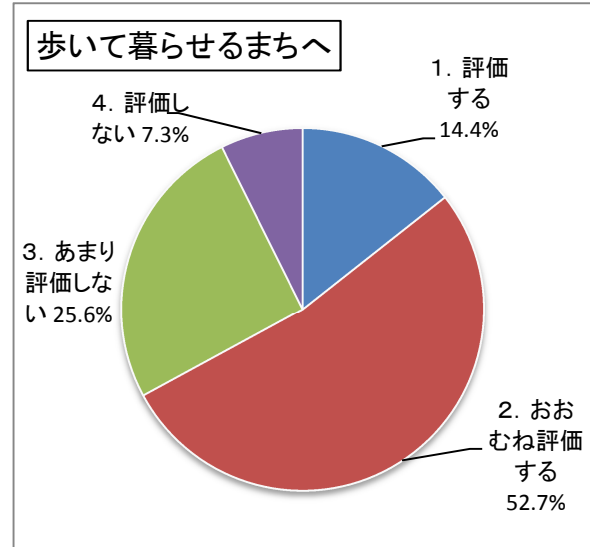


#### 【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、75.1%だった。
- 男女別では、特徴的な違いはなかった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20歳代で83.3%、最も低かったのは、30歳代で69.7%だった。「評価する」との回答のみでも、10・20歳代が最も高く33.3%、30歳代が最も低く3.0%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖東地域で84.6%、最も低かったのは、大津地域で71.7%だった。

### イ 歩いて暮らせるまちへ

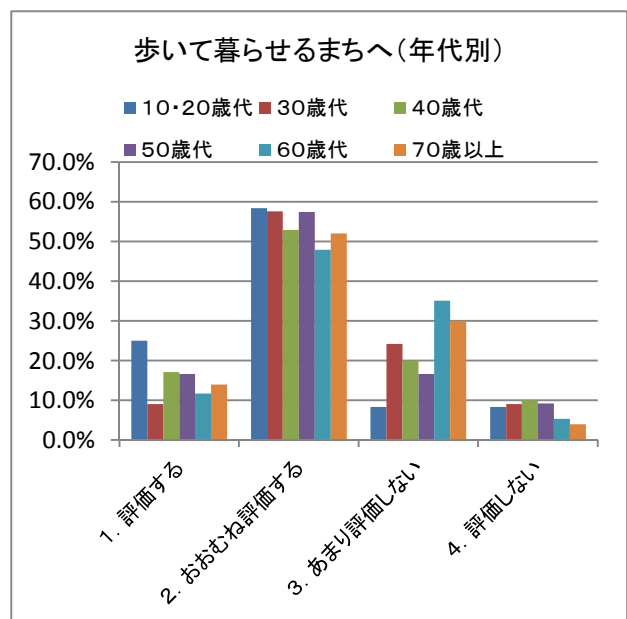
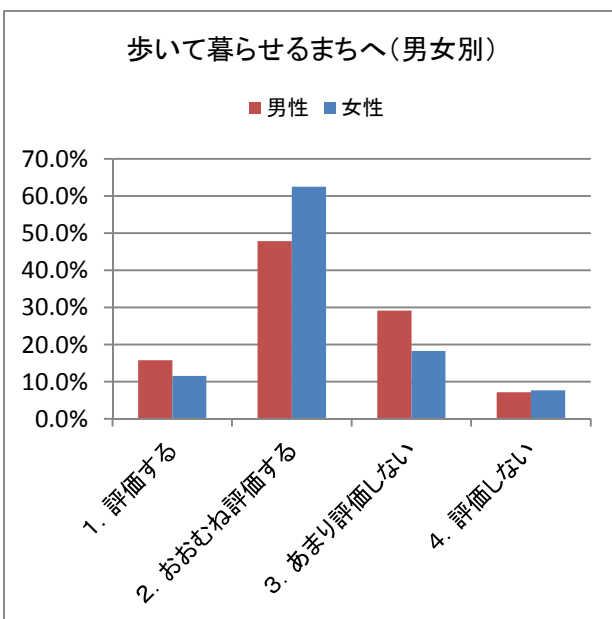
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	45	14.4
2. おおむね評価する	165	52.7
3. あまり評価しない	80	25.6
4. 評価しない	23	7.3
合計	313	100.0

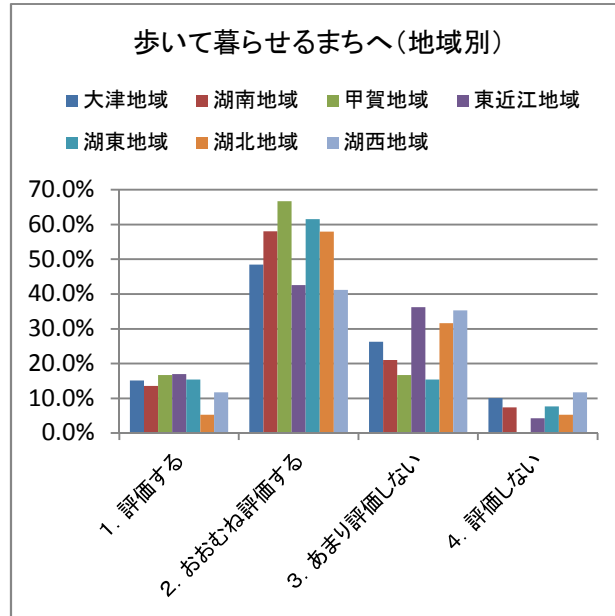


### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・ 今後の社会生活を考えると、BRTの運行を強化願いたい。
- ・ 駅のバリアフリー化は今後も進めて欲しい。自転車道路も増えると良いと思う。
- ・ 高齢化を迎え、地域内での生活に終始できる事が大切であり、地域に根差した商店街(小規模でよい)による活性化を図れる取り組みをしてはどうか。
- ・ 都市部では可能な施策も田舎では無理。
- ・ 切実に必要な「歩道」の整備に力を入れてほしい。
- ・ 買い物・医療・介護の難民が増加するのに、「ぐるりんバス」のような公共交通機関を充実させてほしい。

### 【クロス集計結果】



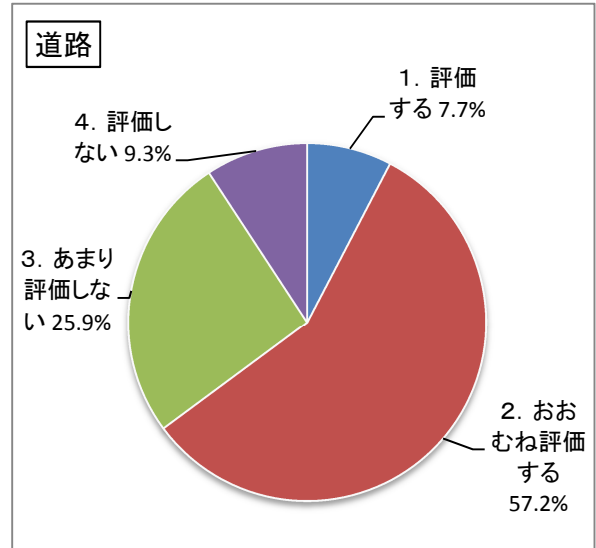


**【結果分析】**

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、67.1%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く74.0%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20歳代で83.3%、最も低かったのは、60歳代で59.6%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域で83.4%、最も低かったのは、湖西地域で53.0%だった。「評価する」との回答のみでみると、各地域10%代となっているが、湖北地域のみ5.3%だった。

## ウ 道路

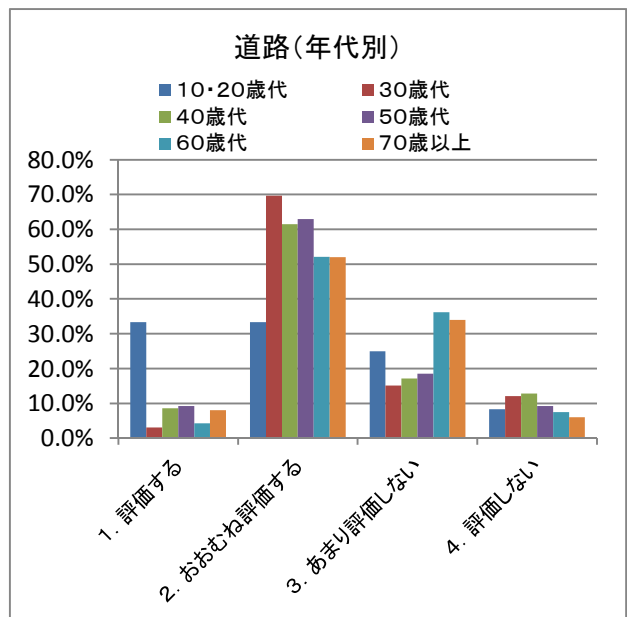
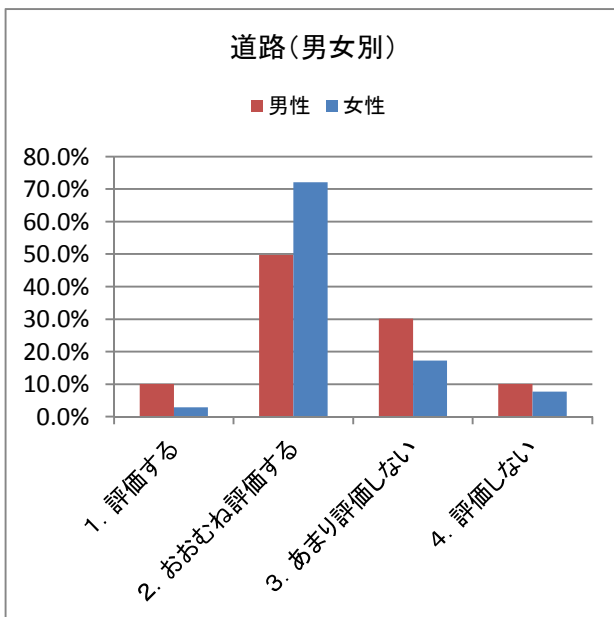
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	24	7.7
2. おおむね評価する	179	57.2
3. あまり評価しない	81	25.9
4. 評価しない	29	9.3
合計	313	100.0

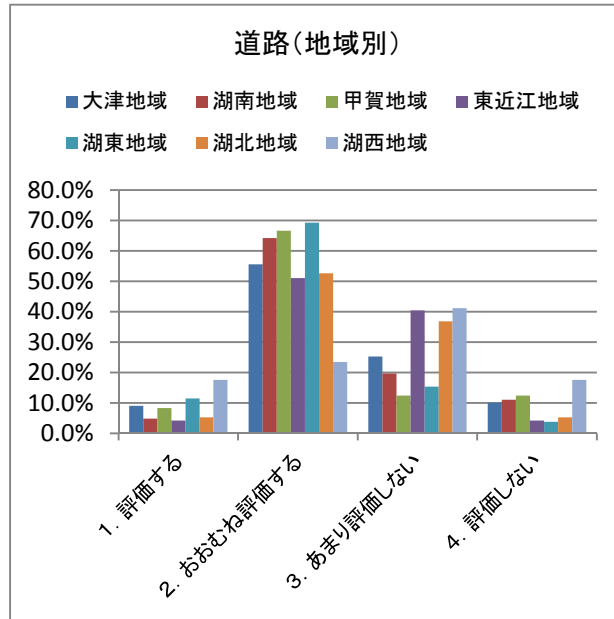


### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・スマートICは利便性や地域活性にも大いに役立ち是非推進して欲しい。但し、そのことにより、交通事故や、高速道路の渋滞に繋がらないようにして欲しい。
- ・「道の駅」の情報発信機能強化を評価する。
- ・161号バイパスの整備も進められており、必要な道路が着実に整備を進められていると感じる。
- ・人口の多い地域は、必要に迫られて道路の充実が実施されるが、災害時孤立するような地域の取り組みが遅い。
- ・道路整備アクションプランの見直しが必要。今後人口が減るにもかかわらず、こんなに道路を作って、金を遣って将来のために良いことなのだろうかとの疑問がある。

### 【クロス集計結果】



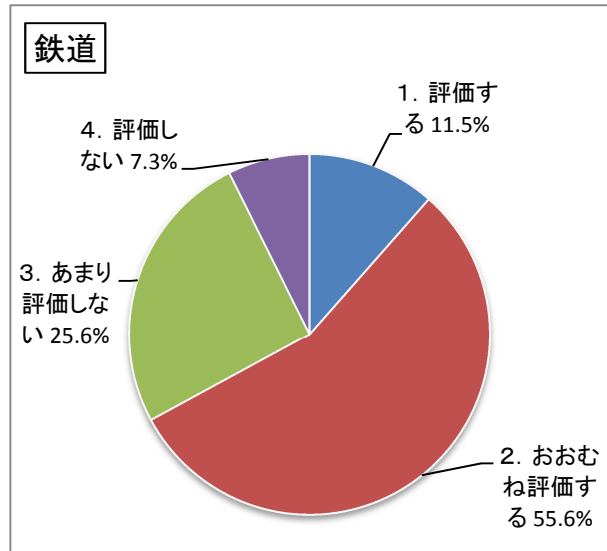


**【結果分析】**

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、64.9%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く 75.0% だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、30 歳代で 72.7%、最も低かったのは、60 歳代で 56.4%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖東地域で 80.7%、最も低かったのは、湖西地域で 41.1%だった。

## エ 鉄道

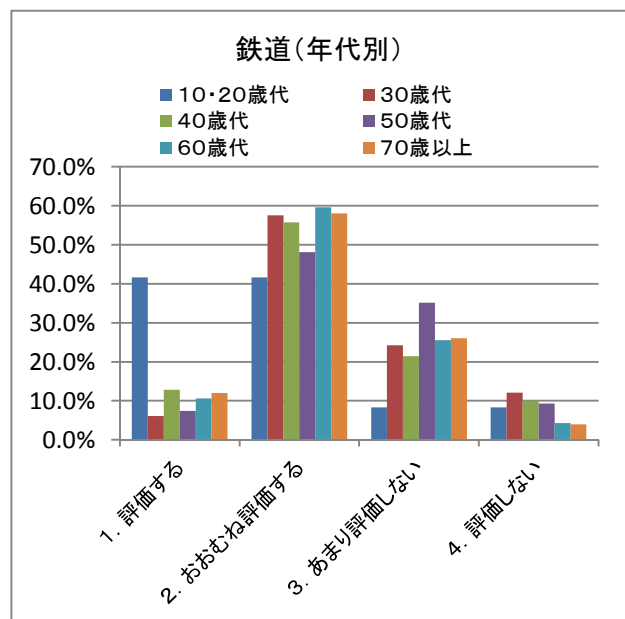
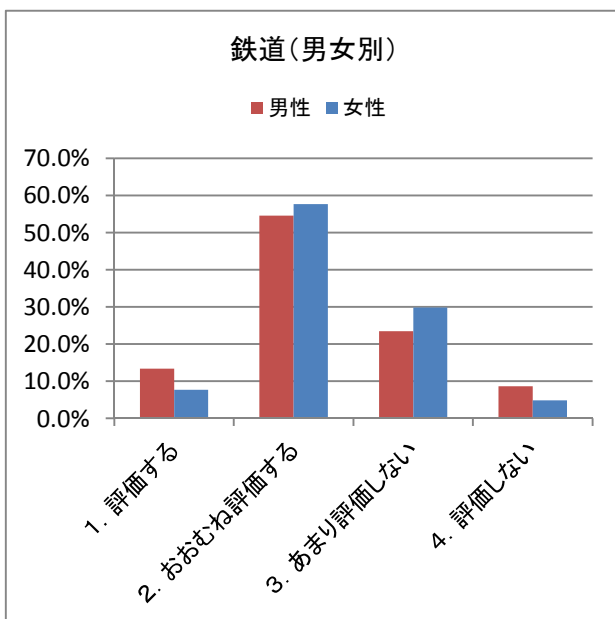
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	36	11.5
2. おおむね評価する	174	55.6
3. あまり評価しない	80	25.6
4. 評価しない	23	7.3
合計	313	100.0



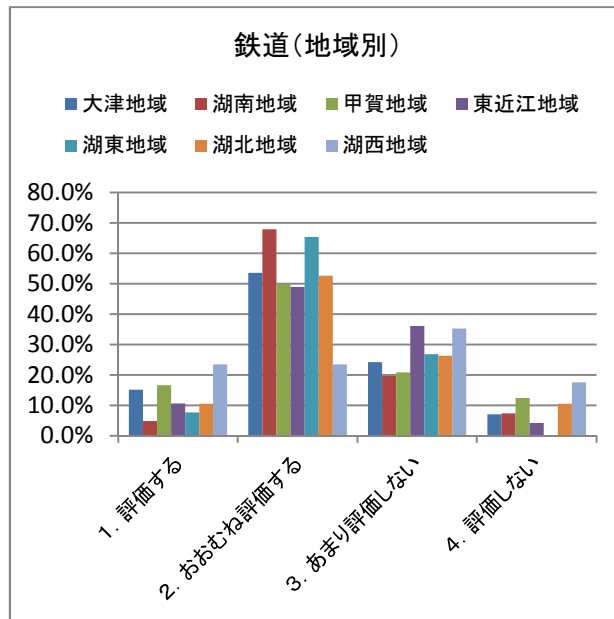
### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・北陸新幹線の誘致活動を、官民一体化して活発化して頂きたい。まず早くルート1本化すべきである。
- ・北陸新幹線は滋賀県を通らない方がいい。今の在来線(湖西線、北陸線)がJRから切り離されたら滋賀としては不便になるだけである。
- ・湖西線の風対策は着実に進められ、成果が出始めていると感じる。
- ・湖西地区から大津都心へ直通の鉄道が必要。湖西線では京都直結であり、大津都心が行きにくい。
- ・琵琶湖線の利用客が増えているが草津以北、野洲以北は昔と状況は変わらない。
- ・石山より北の人はJRが止まると帰れない。
- ・信楽高原鐵道の復旧は嬉しい。

### 【クロス集計結果】





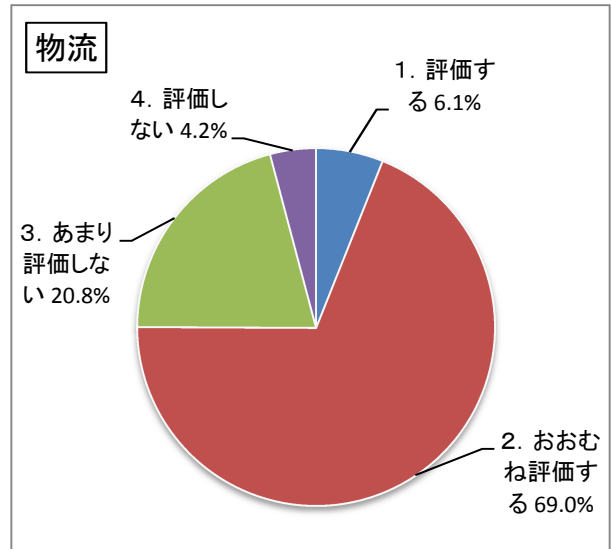


**【結果分析】**

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、67.1%だった。
- 男女別では、特徴的な違いはなかった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20歳代で83.4%、最も低かったのは、50歳代で55.5%だった。「評価する」との回答でも、10・20歳代が最も高く、41.7%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖東地域で73.1%、最も低かったのは、湖西地域で47.0%だった。

## オ 物流

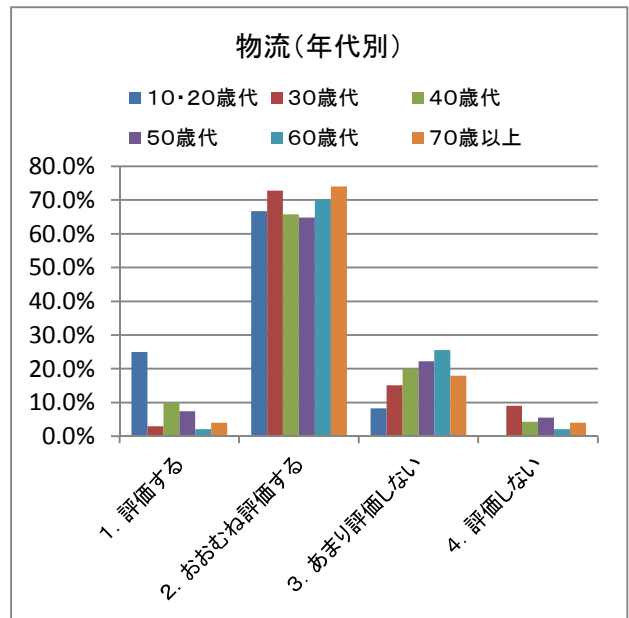
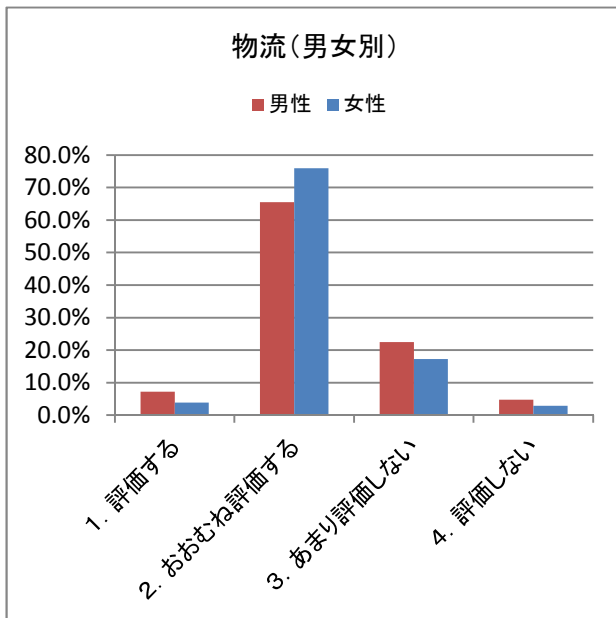
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	19	6.1
2. おおむね評価する	216	69.0
3. あまり評価しない	65	20.8
4. 評価しない	13	4.2
合計	313	100.0

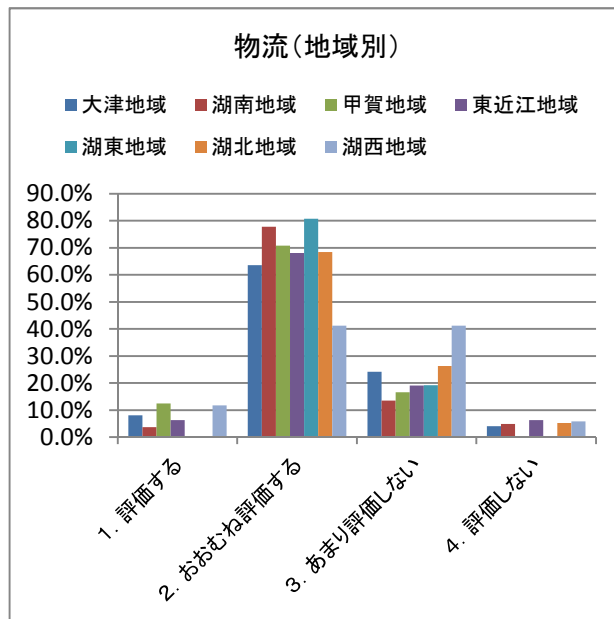


### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・他府県の取り組みや実績を調査し、そこに滋賀の強みで相乗効果を狙って欲しい。
- ・環境面に配慮した持続可能な『物流』の構築をめざすべき。
- ・コンベンションを本県に誘致できる環境が必要。

### 【クロス集計結果】



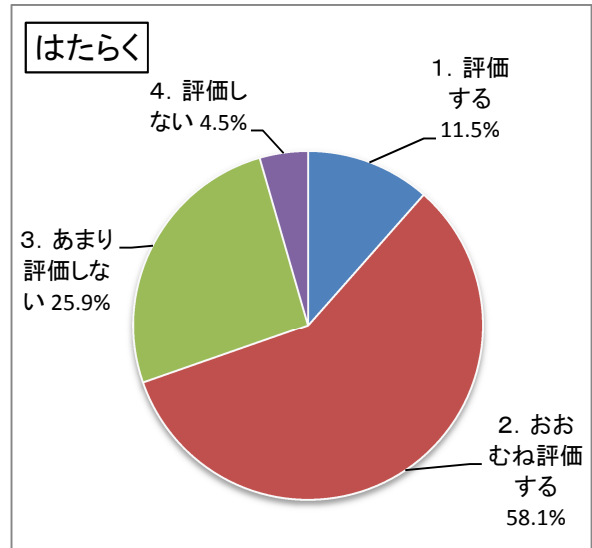


**【結果分析】**

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、75.1%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く 79.8% だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20 歳代で 91.7%、最も低かったのは、50 歳代で 72.2%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域で 83.3%、最も低かったのは、湖西地域で 53.0%だった。

(3)「はたらく～みんなの力を活かす協働社会」

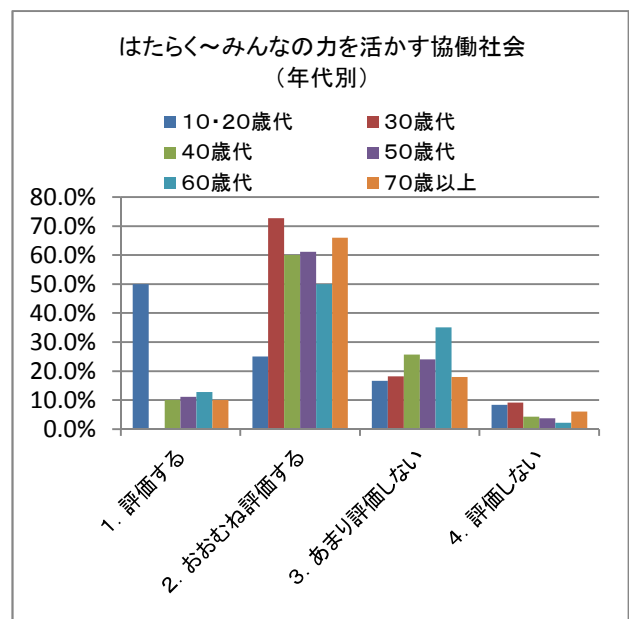
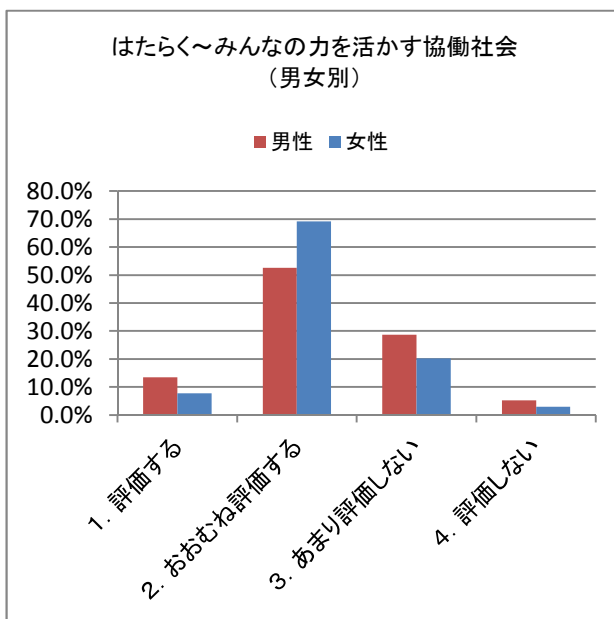
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	36	11.5
2. おおむね評価する	182	58.1
3. あまり評価しない	81	25.9
4. 評価しない	14	4.5
合計	313	100.0

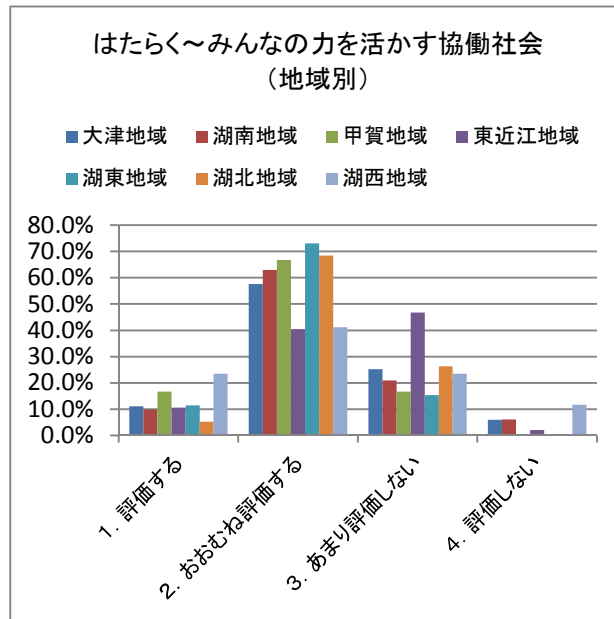


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・官民一体で、女性の社会進出を、多面的に支援強化してほしい。
- ・「イクボス」、評価する。男性の育児参加に大賛成。男性の働き方が変われば世の中全体が変わると思う。
- ・「イクボス」も良いが、原則残業なしの日を週2日以上つくったり、有給は完全取得を進めるなど数値で残る政策を希望する。
- ・民間ではなにも実感ない。
- ・中学生の就業体験は今後も続けて欲しい。小学生にももう少し働く現場を見られる機会があると良いと思う。
- ・各種ジョブステーションを作っているが、どれだけの効果があるのか、利用者がいるのか1年後に検証が必要。

【クロス集計結果】





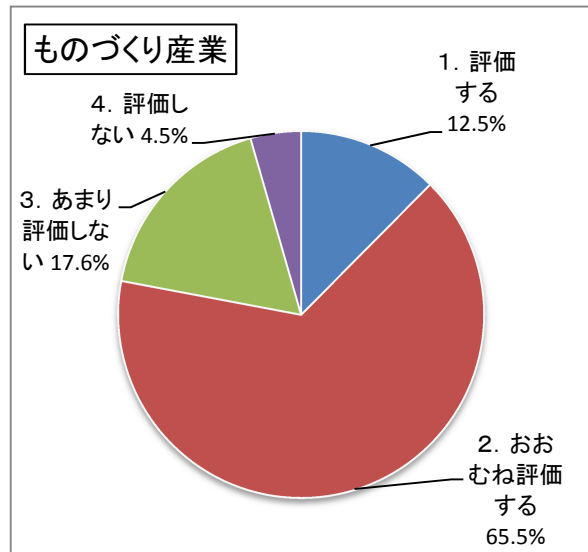
### 【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、69.6%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く76.9%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20歳代で75.0%、最も低かったのは、60歳代で62.8%だった。「評価する」との回答では、10・20歳代が最も高く50.0%、30歳代が最も低くゼロだった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖東地域で84.6%、最も低かったのは、東近江地域で51.0%だった。

(4)「つくる～ものづくりで元気な滋賀を！」

ア ものづくり産業

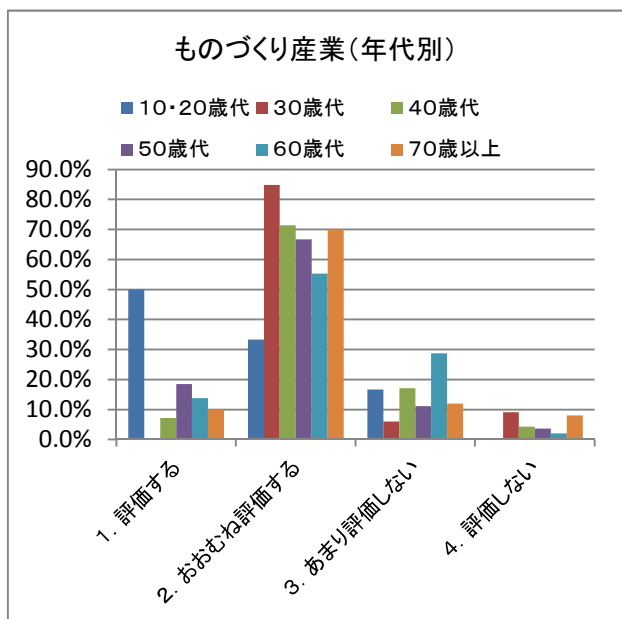
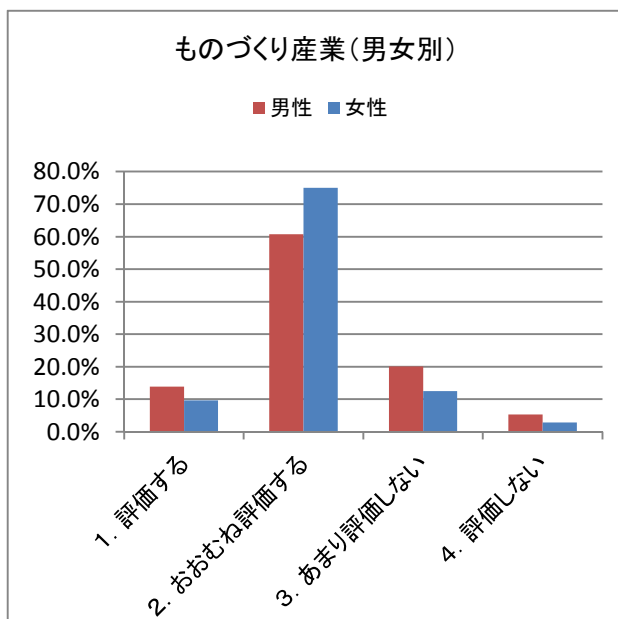
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	39	12.5
2. おおむね評価する	205	65.5
3. あまり評価しない	55	17.6
4. 評価しない	14	4.5
合計	313	100.0

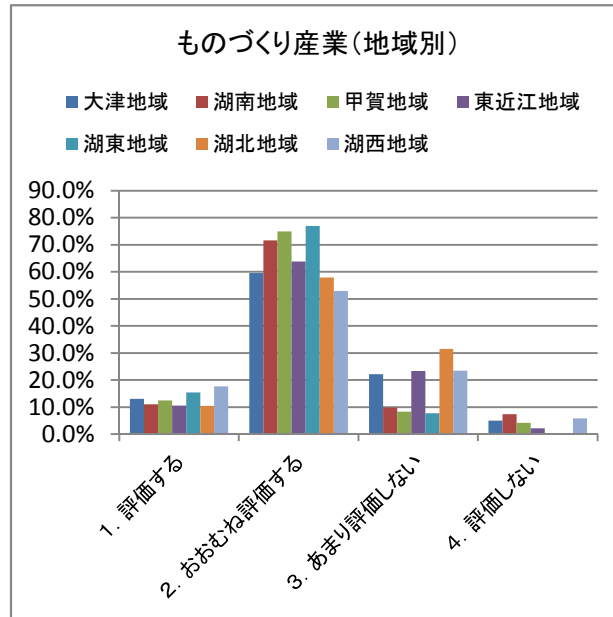


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・既存企業や企業家が新規事業を無理なく起こせるような、支援策をより推進すべきと感じる。それが滋賀の新たな価値となるように。
- ・外国人研修生の活用など、もっと画期的かつグローバルな対策を期待する。
- ・ものづくりだけでなく金融やサービスも強化してほしい。
- ・成人病センターの聴覚障害の人たちのための取り組みは大いにやってもらいたい。
- ・県内には若者の仕事を作ろうとしている人たちもいて、彼らへの支援も必要。すき間産業創出への援助も。
- ・作ることに同時に「売る」ことにも目を向けたい。

【クロス集計結果】



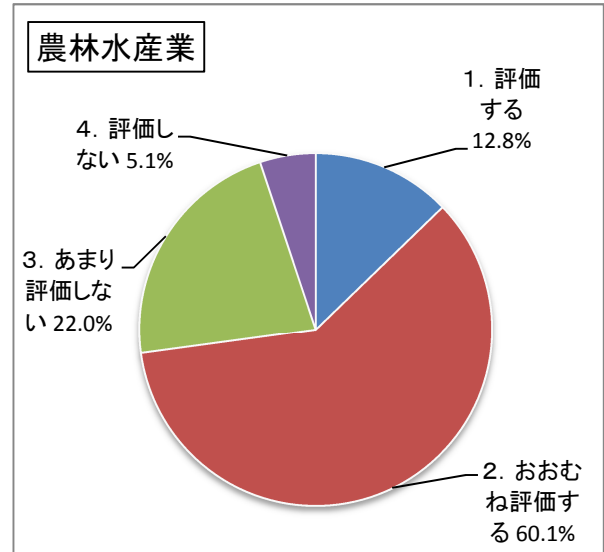


#### 【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、78.0%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く 84.6% だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、50 歳代で 85.2%、最も低かったのは、60 歳代で 69.1%だった。「評価する」との回答では、10・20 歳代が最も高く 50.0%、30 歳代が最も低くゼロだった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖東地域で 92.3%、最も低かったのは、湖北地域で 68.4%だった。

## イ 農林水産業

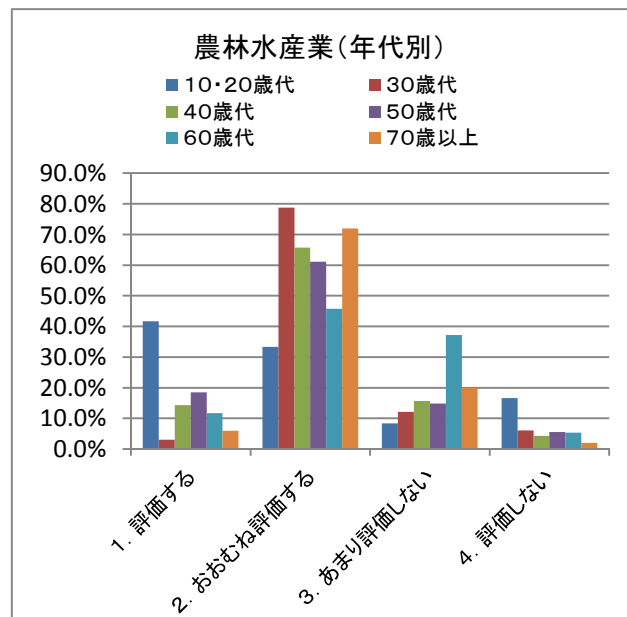
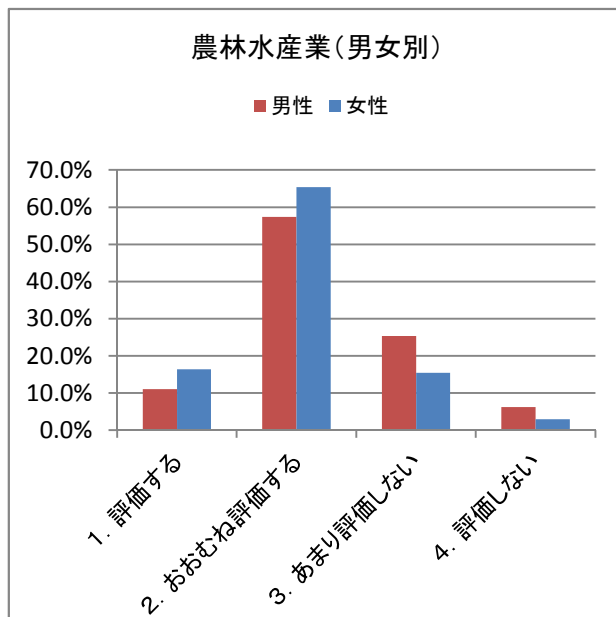
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	40	12.8
2. おおむね評価する	188	60.1
3. あまり評価しない	69	22.0
4. 評価しない	16	5.1
合計	313	100.0



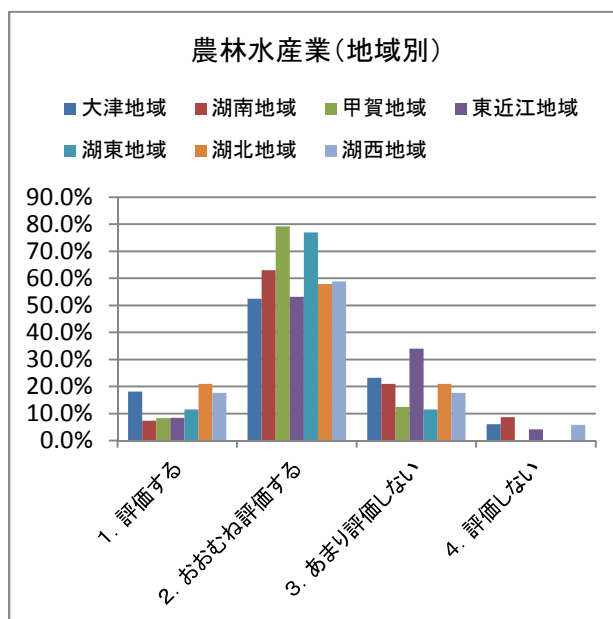
### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・新規就農者や法人化に伴う支援策をして、県内農業の強化を図るべき。また水産業について子供たちに何らかの感じる教育をすることが重要。
- ・びわ湖ならではの「水」にもっと力を入れて世界に発信してほしい。鮎や鮎鮎醜酵食など。
- ・滋賀県には日本一の味覚の果物が無い。日本一の味覚のフルーツやワインのような加工品をブランド化してほしい。
- ・近江米のPRや農業者から子どもたちへ食の大切さを伝えることは今後も続けて欲しい。
- ・もう一步踏み出して、無農薬、減農薬をうたい、安全な農作物とすれば、大いに売れるような気がする。
- ・お米の大事さは単に主食としてだけでなく環境とか治水にとっても大事であることをもっと広報し、米の需要を増やす努力を望む。

### 【クロス集計結果】





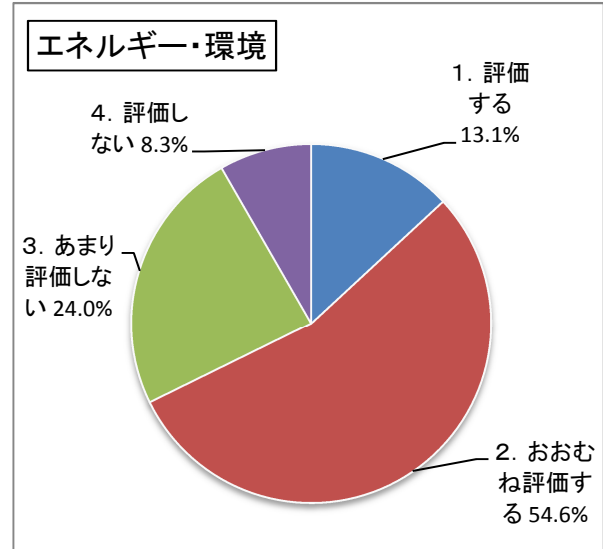


**【結果分析】**

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、72.9%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く84.6%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、30歳代で81.8%、最も低かったのは、60歳代で57.4%だった。「評価する」との回答では、10・20歳代が最も高く41.7%、30歳代が最も低く3.0%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖東地域で88.4%、最も低かったのは、東近江地域で61.7%だった。

## ウ エネルギー・環境

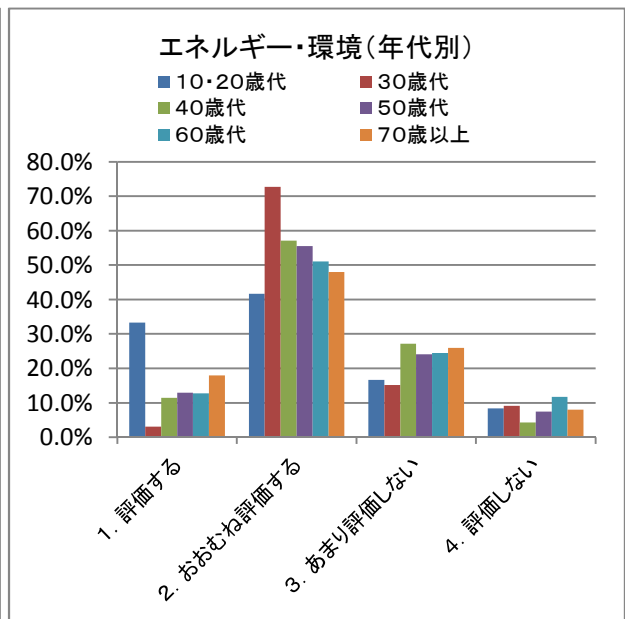
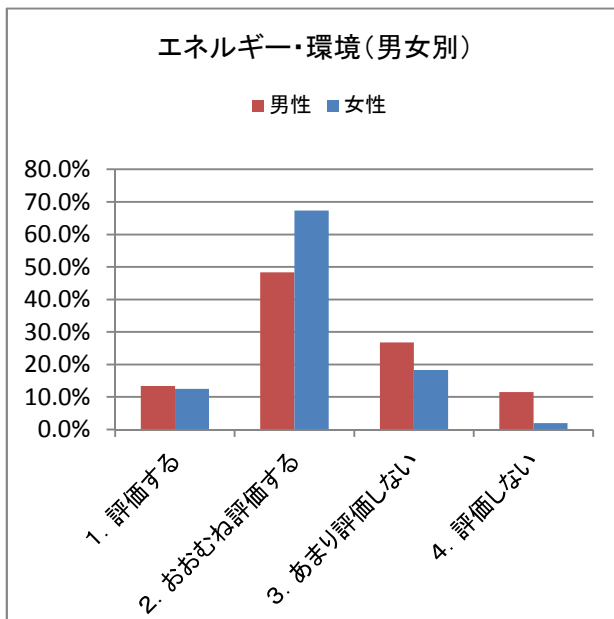
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	41	13.1
2. おおむね評価する	171	54.6
3. あまり評価しない	75	24.0
4. 評価しない	26	8.3
合計	313	100.0

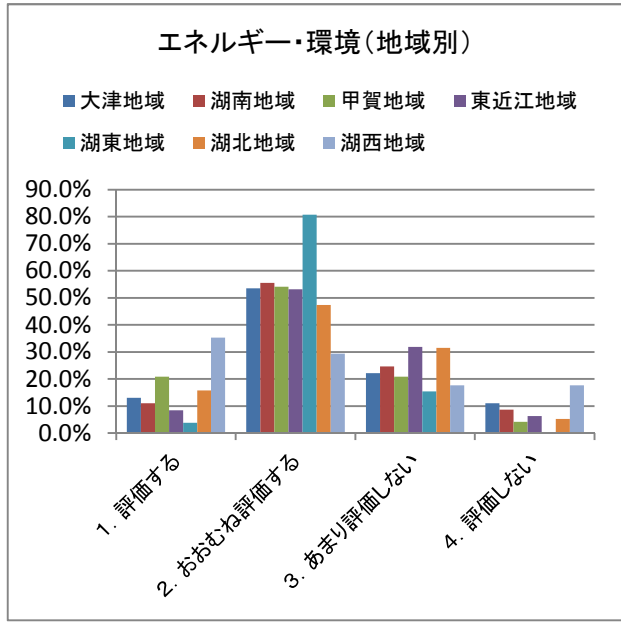


### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・水環境を活用したビジネスを創出して、アジアを含む海外へビジネス展開できるように育てることを期待する。
- ・公共施設は全て自然エネルギーを使うなど、もっと積極的に。
- ・太陽光発電の施設が急激に増加しているが、将来耐用年数が過ぎた設備の処理を考えているのか疑問。
- ・エネルギー政策課を設置しただけでは意味がない。各家庭に太陽光発電の設置。100%目指す。それくらいの目標を置いて取り組まないと。
- ・経済的な視点が不足しているように思える。
- ・県や市が主体となって発電所を建設するような施策が出来ないか。洗堰の水力発電など。

### 【クロス集計結果】



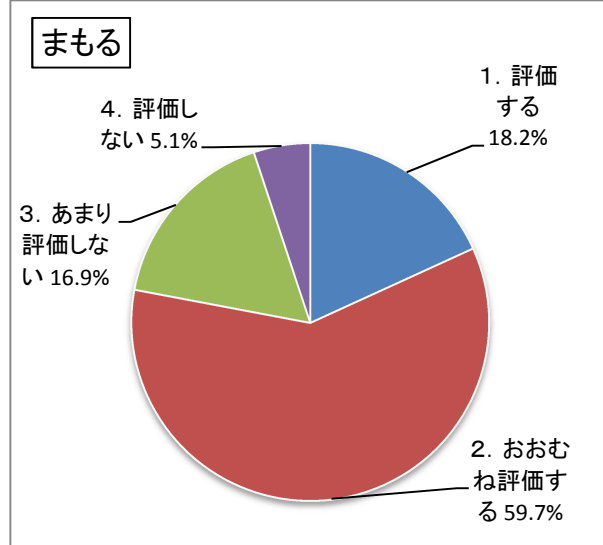


**【結果分析】**

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、67.7%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く 79.8% だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、30 歳代で 75.7%、最も低かったのは、60 歳代で 63.9%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖東地域で 84.6%、最も低かったのは、東近江地域で 61.7%だった。

(5)「まもる～豊かなびわ湖を次世代に」

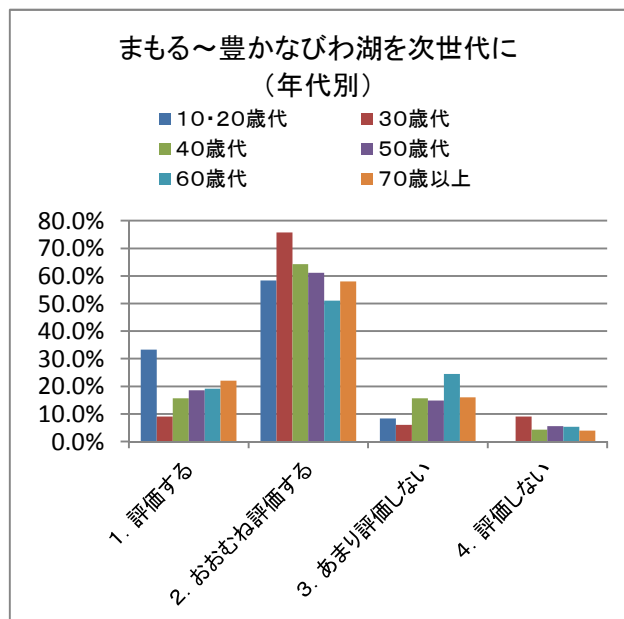
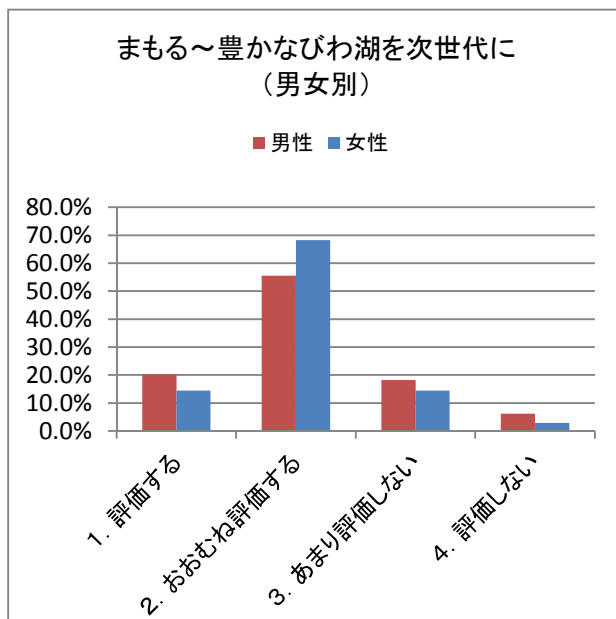
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	57	18.2
2. おおむね評価する	187	59.7
3. あまり評価しない	53	16.9
4. 評価しない	16	5.1
合計	313	100.0

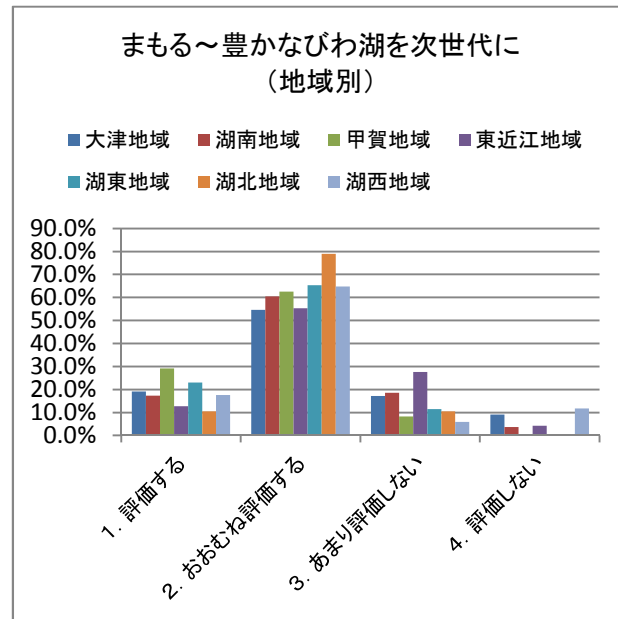


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・ 歴史ある「醒ヶ井養鱒場」等を、世界に発信すべきである。観光県を目指すべきである。
- ・ 県民の意識を高める、県外（特に関西人）から琵琶湖に来る人に大切さをPRすること。
- ・ 琵琶湖に関してもっと子どもたちに教える場が増えると良いと思う。
- ・ 琵琶湖を誇りにしつづけられるように活動していかねば、と思う。
- ・ 何よりも今は水草の除去が必要
- ・ 外来水生植物の駆除に向けた取り組みに目に見える進展がない。

【クロス集計結果】



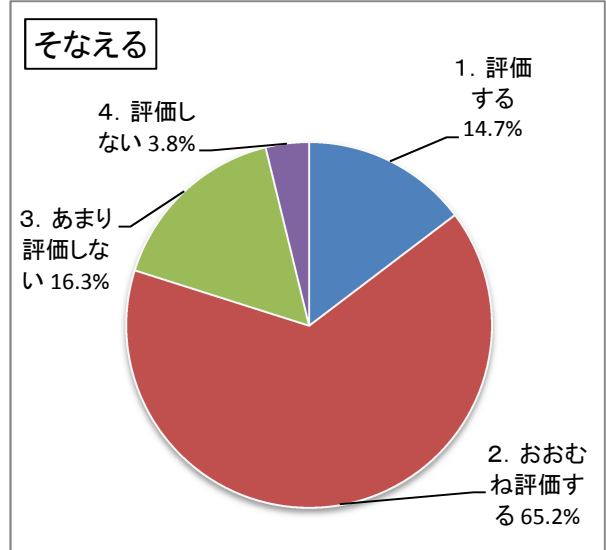


### 【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、77.9%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く82.7%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20歳代で91.6%、最も低かったのは、60歳代で70.2%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域で91.7%、最も低かったのは、東近江地域で68.1%だった。

(6)「そなえる～安全・安心社会の実現」

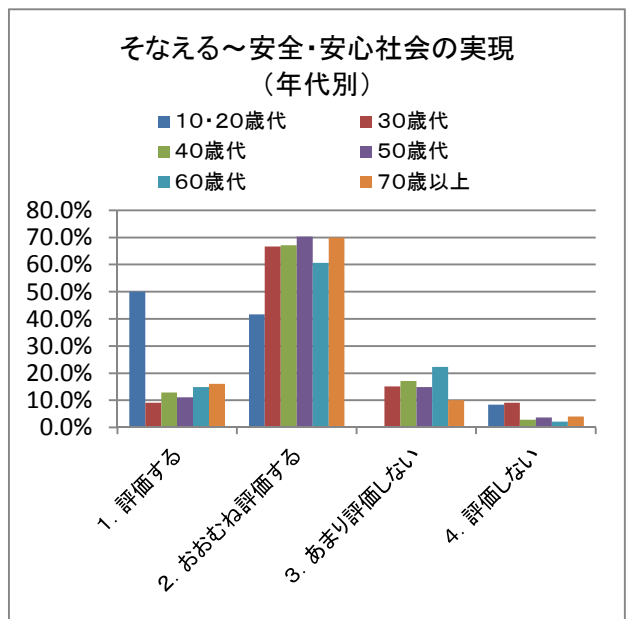
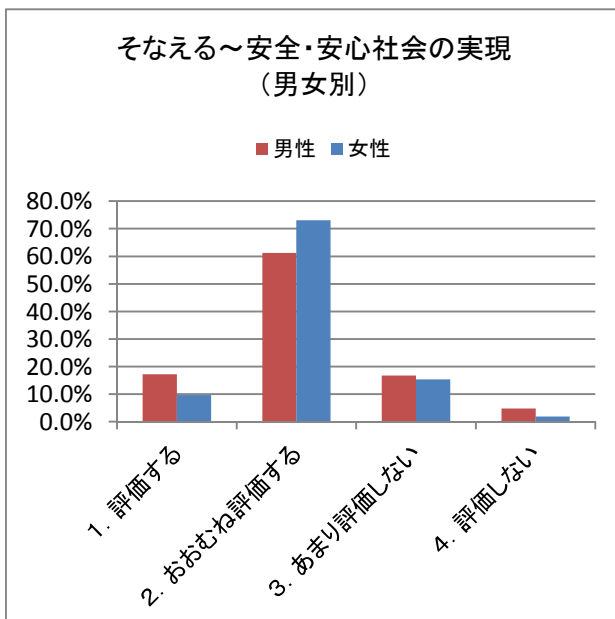
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	46	14.7
2. おおむね評価する	204	65.2
3. あまり評価しない	51	16.3
4. 評価しない	12	3.8
合計	313	100.0

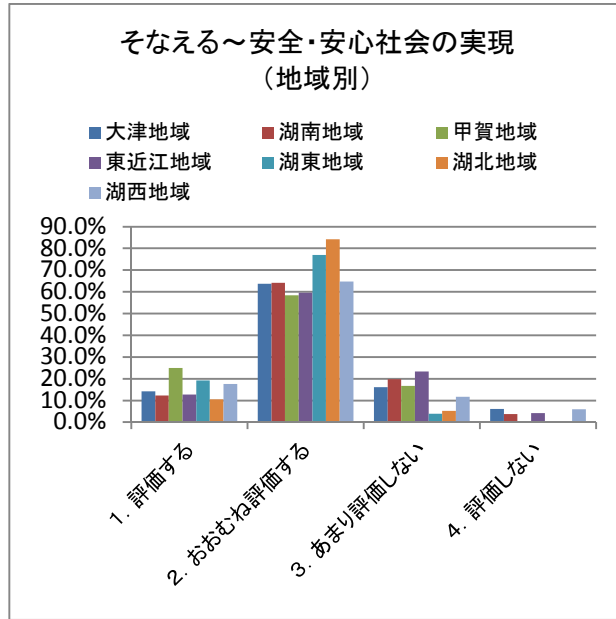


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・ 滋賀県危機管理センターがようやく建設された。
- ・ 耐震費用の補助があっても貧しくて耐震化できない人はどうすればよいのか。
- ・ 警察官の増員を評価する。
- ・ 広島の土石流災害の教訓から、急傾斜地の家や設備には明確な勧告など事実の通達が必要と思う。
- ・ 原子力災害への備えをしっかりと押し進めるべき。
- ・ 近年は想定外の災害も多く、常に想定外の事態についても対応可能な準備をしておくことが重要。

【クロス集計結果】



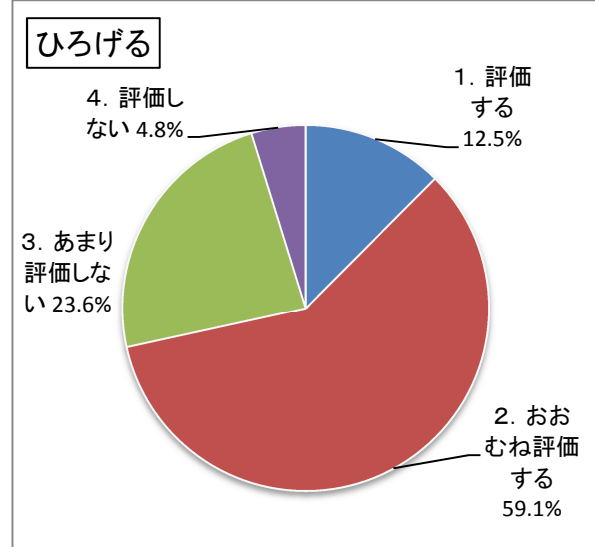


### 【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、79.9%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く 82.7% だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20 歳代で 91.7%、最も低かったのは、60 歳代で 75.5% だった。「評価する」との回答では、10・20 歳代が最も高く 50.0%、30 歳代が最も低く 9.1% だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖東地域で 96.1%、最も低かったのは、東近江地域で 72.4% だった。

(7)「ひろげる～ようこそ滋賀へ！」

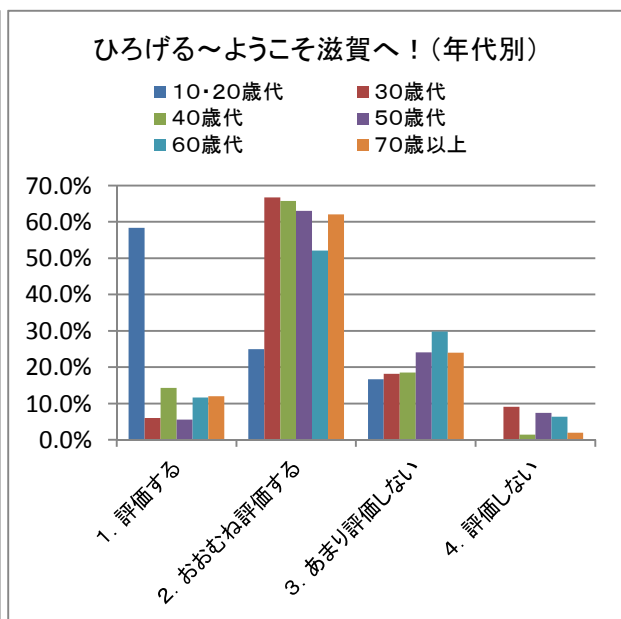
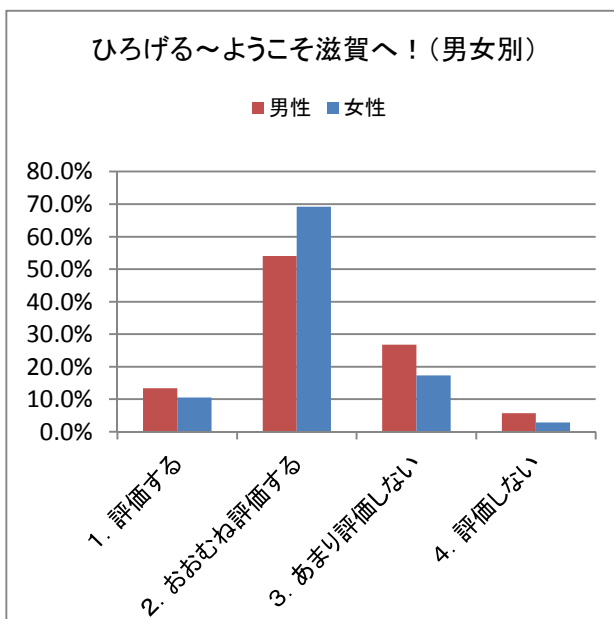
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	39	12.5
2. おおむね評価する	185	59.1
3. あまり評価しない	74	23.6
4. 評価しない	15	4.8
合計	313	100.0



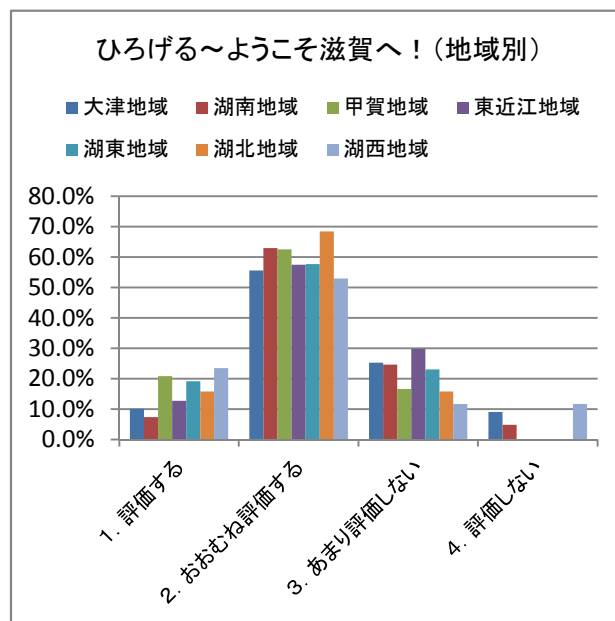
評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・東京オリンピックに向けて、滋賀の良さを県民の意識向上をベースにして、世界にアピールすべきである。
- ・海外にPRはいいと思うが、東京で「食を中心に」PRというのは、弱い気がする。
- ・観光県として日本のみならず海外にも滋賀の魅力をアピールしていくことは重要で、併せて英語の看板など、受け入れ態勢を整えることも重要。
- ・大津駅周辺、県庁、街並みなど、県の顔、迎え入れるシンボルがないのは残念。
- ・車でないと観光しにくい県だと思う。琵琶湖博物館など、どういうアクセスがおすすめなのかなど、バスの時刻表の広報を充実してほしい。
- ・旅行先世界1位の京都が隣なのだから、自然を生かした合宿先としての滋賀を整備して、京都観光の宿泊先としての機能も持たせる方がよいような気がする。

【クロス集計結果】





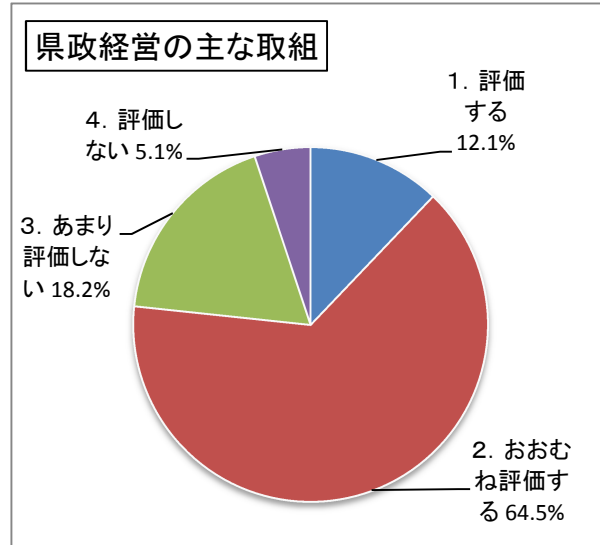


#### 【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、71.6%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く 79.8% だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20 歳代で 83.3%、最も低かったのは、60 歳代で 63.8%だった。「評価する」との回答では、10・20 歳代が最も高く 58.3%、50 歳代が最も低く 5.6%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖北地域で 84.2%、最も低かったのは、東近江地域で 70.2%だった。

問7 「県政経営の主な取組」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=313)

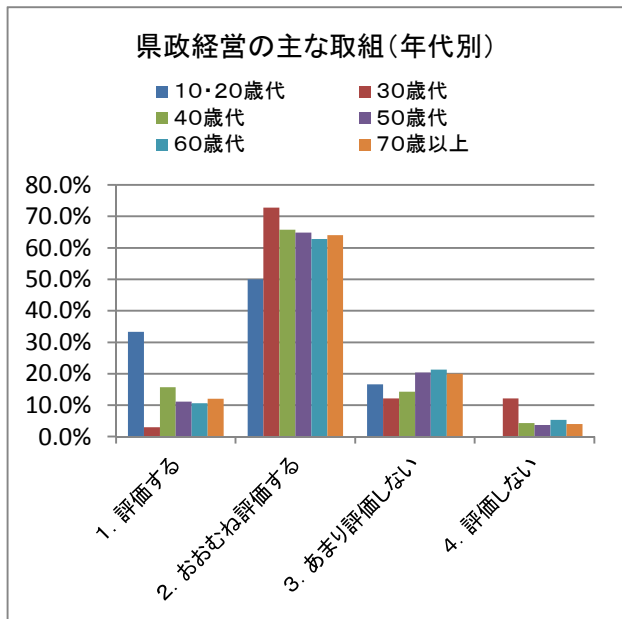
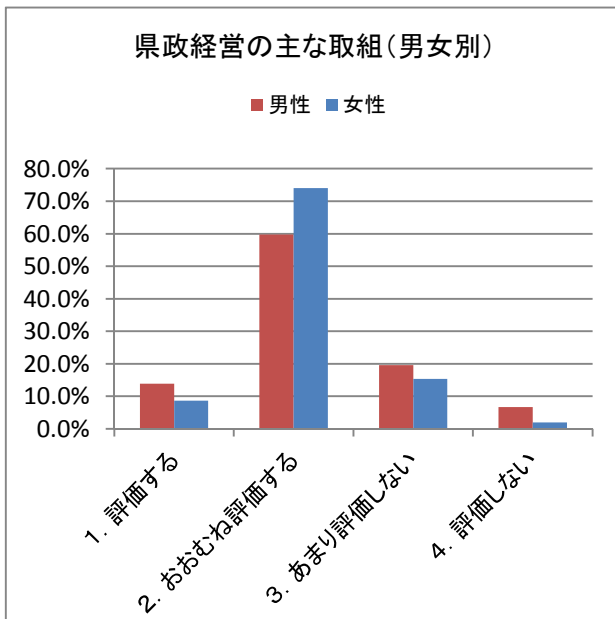
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	38	12.1
2. おおむね評価する	202	64.5
3. あまり評価しない	57	18.2
4. 評価しない	16	5.1
合計	313	100.0

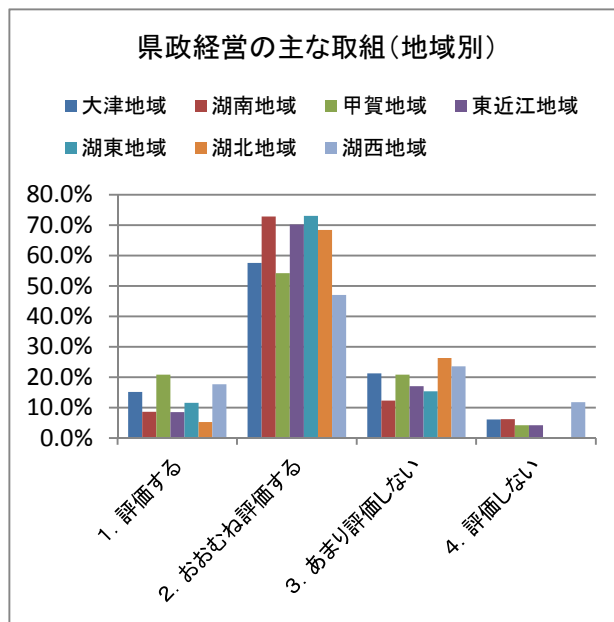


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・「選択と集中による投資的経費の重点化」に対して、大いに期待する。
- ・基礎自治体の意見を重視する姿勢は今後も継続してもらいたい。
- ・持続社会を実現するための無駄の削減を強化してほしい。
- ・個人としての動きは評価するが、組織力に欠ける。

### 【クロス集計結果】





**【結果分析】**

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、76.6%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、女性のほうが高く82.7%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20歳代で83.3%、最も低かったのは、60歳代で73.4%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖東地域で84.6%、最も低かったのは、湖西地域で64.7%だった。

問8 その他、知事就任後1年間の取組について感じることや、今後取り組んでほしいことについて、ご意見がありましたらお聞かせください。(抜粋)

- ・もっとメディアを活用し、びわ湖放送ならず全国のテレビにも出演して滋賀をPRして欲しい。
- ・観光客は増えてはいるが日帰りが多いので、もっと宿泊施設を充実していき、滞在型観光客を増やしていくべし。
- ・民間バス路線も回数が減らされ、使うに使える現状である。滋賀県内のバス路線の点検や運転時間の点検もしてほしい。
- ・いじめ問題に対して、より早く先進的な対策の構築を望む。
- ・湖北も開発してほしい。働く場所、学校、交通機関、働く場所がない。
- ・びわ湖の美しい景観が湖岸にマンションが立ち並ぶことによって年々損なわれている。一度建ってしまえば少なくとも50年ぐらいは壊せないのだから、50年後、100年後を見越して今すぐにでも対応、規制に取り組んでほしい。
- ・京都(京都市・長岡京市)に比べて県は車の利用、車両が多すぎると思うので、車以外の移動手段をもっと利用されるような働きかけが必要。
- ・身近で親しみやすい知事で有り続けてほしい。特に子供に関する施策は一番に。うみのこが遅れたことは残念。学力テストの結果も順位だけでなく地道に力強い子供の育成に努めてほしい。
- ・安易なエコはむしろ環境を破壊していますのでそれを無視してエコ発電を推奨しないでほしい。ソーラー発電でどれだけ環境破壊が起こったかしっかり調べてほしい。
- ・介護の仕事に従事する人に対して責任に見合う収入にするなど働く環境を改善しなければ、当該業務に就く人が減少するか質が低下する可能性が高い。福祉の現場に足を運び実態を把握していただきたい。
- ・「企業は人なり」という言葉があるが、県政も知事の政策実現のためまじめに働く県庁職員皆さんの力量が求められるものと思う。一般人より一つ高い倫理観や気力・体力を持った滋賀県庁職員の養成に一段と頑張してほしいと思う。
- ・子どもを持つ親として一番にお願いしたいのは、やはり教育の面である。滋賀のレベルをアップさせるためにも、いろいろな取り組みを期待する。
- ・行事やイベントの中で、子どもたちがさまざまな体験をする場がもっと増えると良いと思う。いろいろなスポーツや運動を挑戦したり、教えてもらえる場も増えて欲しい。
- ・再生可能エネルギーを売る県有の電力会社を作ってほしい。
- ・県土の大半を占める農林水産業は、そこから派生する、琵琶湖の環境保全、或いは6次産業への発展、また観光振興に至るまで、滋賀県全体に影響を及ぼす。まだまだ余力ある滋賀県、じっくり魅力を磨いていていただきたい。我々県民もそれぞれの立場で行動して参りたい。
- ・滋賀県は、琵琶湖を武器に、関西圏のシンクタンクとして、成長させ、やがては日本のシンクタンクとしての役割を果たすことを目標として、住環境・教育環境を基盤とした政策を模索してください。
- ・障害者対策(生活支援、就労支援、公共施設のバリアフリー化、障害者施設の北部への設置など)や南北問題の解消にどのように対応されるのか、ビジョンを示して頂きたい。